

生成AIで実現する「成果の出る」
ナレッジ管理の方法とは
～いままでのナレッジ管理に成果を感じない理由と解決策～

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

費用対効果

最後に

厚生労働省の発表

厚生労働省の
発表情報

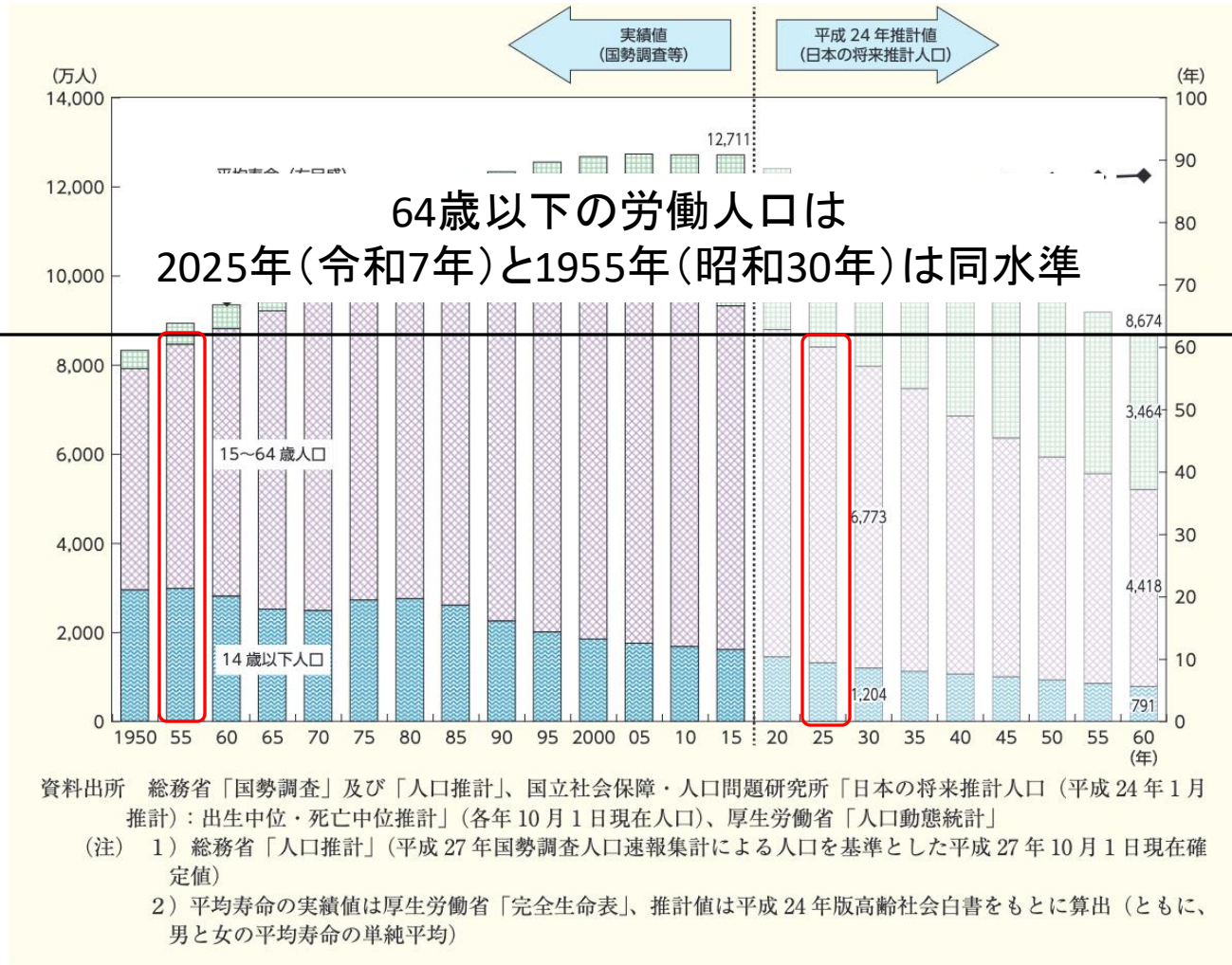
労働人口減少への
対策

日本の生産性につ
いて

生産性低下の理由

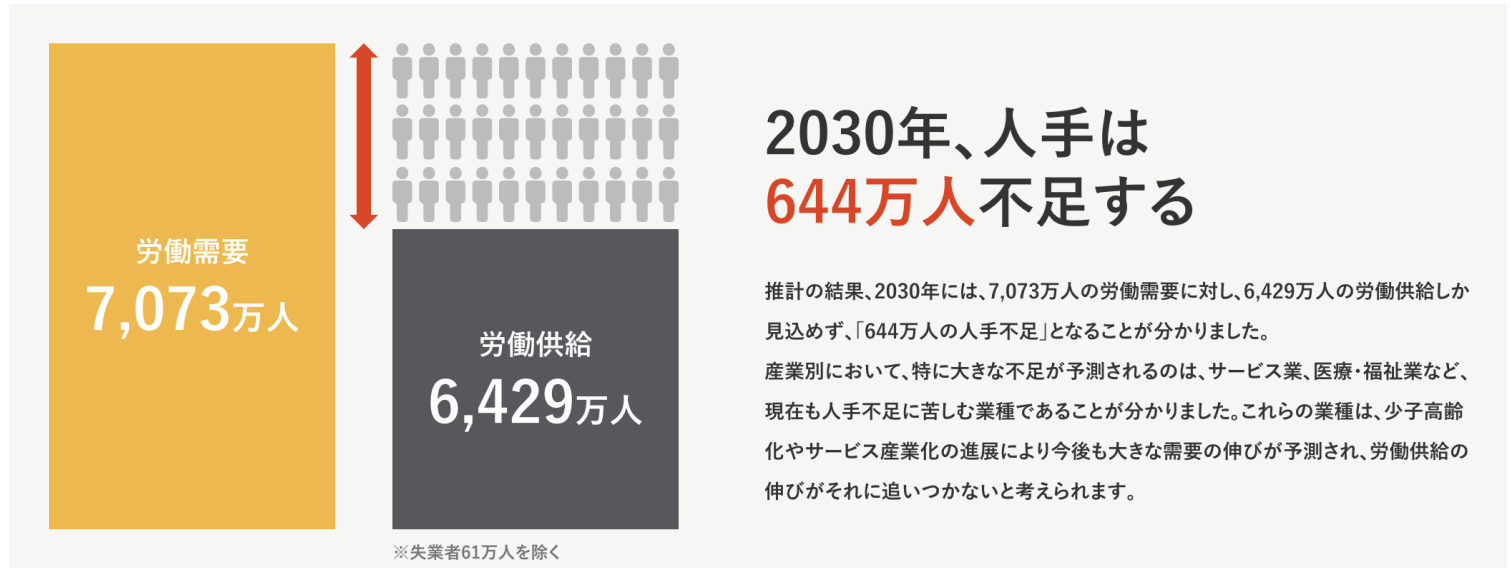
生産性向上の解
決策

各分野の生産性
向上の割合

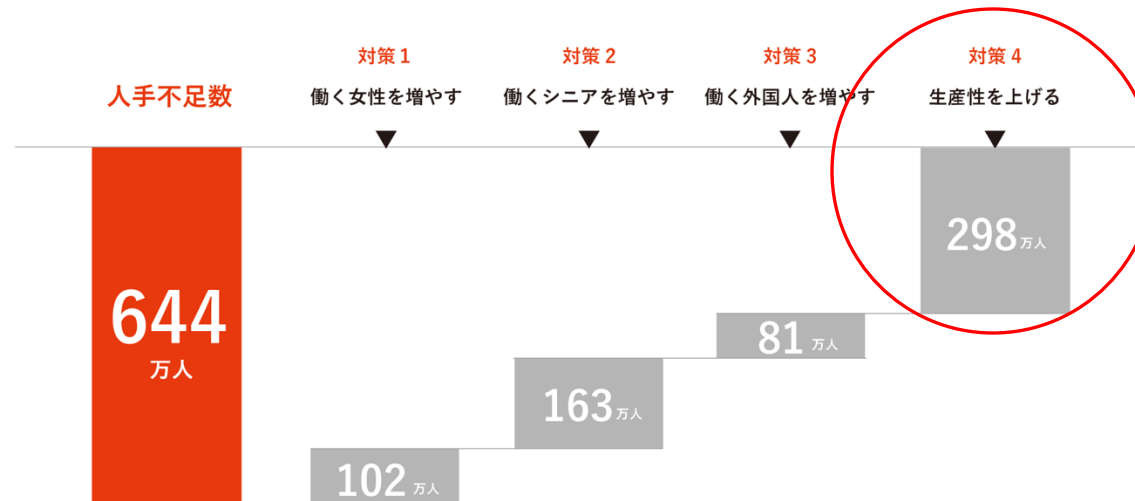


厚生労働省『人口減少下の中で誰もが活躍できる社会に向けて』第三章
<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/16/dl/16-1-3.pdf>

労働人口減少への対策



労働市場の未来推計 2030(パーソル総合研究所) 2019年2月1日発表
<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/spe/roudou2030/>



厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

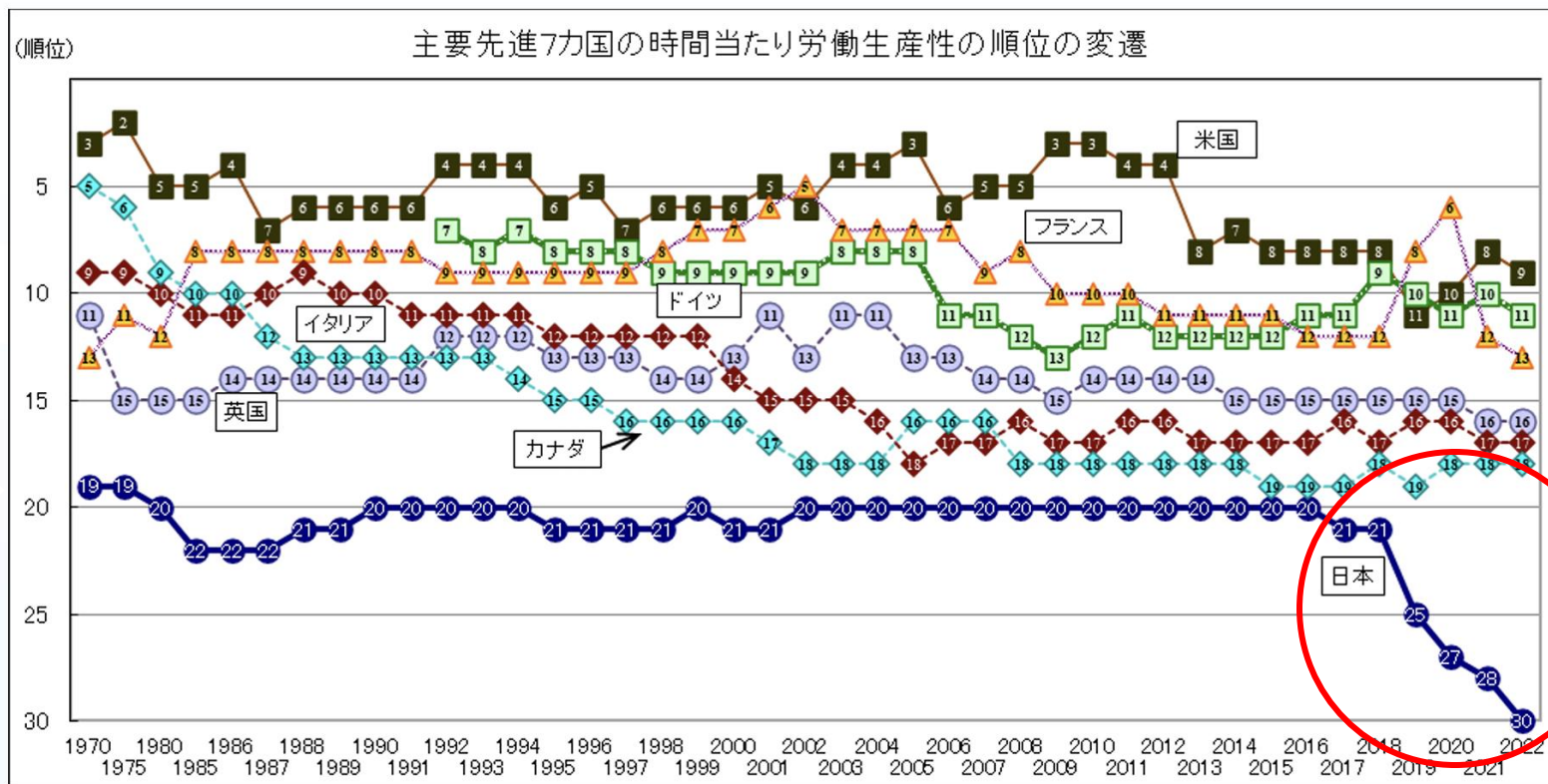
日本の生産性につ
いて

生産性低下の理由

生産性向上の解
決策

各分野の生産性
向上の割合

日本の労働生産性の順位推移



日本は、以前より、先進7カ国のなかでも最下位の生産性であったが、2018年から一気に多くの国々に抜かれ、30位に急落している。

出典：公益財団法人 日本生産性本部 『労働生産性の国際比較2023』より

厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

日本の生産性につ
いて

生産性低下の理由

生産性向上の解
決策

各分野の生産性
向上の割合

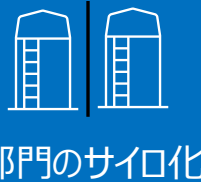
生産性低下の理由

生産性の低下は、ビジネス環境の変化に適用できず、旧来の働き方に固執してしまうことが理由です。



IT投資が停滞し、変化していない働き方

2000年以降、OECDの主要国のなかで、IT投資額がマイナスとなっている国は日本のみである。そのため必要最低限のオフィスツール範囲で可能なメールやファイルサーバーまたはオンラインストレージでの情報共有を長期間行ってきたため、働き方が変化していないのが実情です。



部門のサイロ化による全体最適への影響

過度な分業により、部門間の連携がうまく取れず、プロセスがバラバラになって生産性が下がる傾向があります。さらに、自分の部門だけの目標や業務範囲にとらわれた行動が優先されることで、組織全体としての最適化ができず、生産性が低下しています。



現状を単純にデジタル化しても効果が低い

紙による伝票とハンコ承認のプロセスを前提にしてプロセスをデジタル化する場合、生産性の向上を十分に感じない場合があります。現状プロセスを前提にしたデジタル化や生成AI活用では劇的な生産性向上を行うことができない場合があり、費用対効果が少ないと感ずることがあります。



厳しい法規制による生産性の低下

インボイス制度、電子帳簿保存法など組織の生産性向上を促す政策ではなく、厳密な管理に重点とした政策によって、業務の手間が増大し、生産性が低下している。セキュリティと利便性のバランスを考慮した政策が必要になる。

厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

日本の生産性につ
いて

生産性低下の理由

生産性向上の解
決策

各分野の生産性
向上の割合

生産性を向上させるための代表的な解決策

生産性を向上させるための代表的な解決策は以下の通りです

1. 業務プロセスの見直し

- 現状のプロセスをゼロベースで再検討し、無駄や重複を排除する。
- 業務の自動化（RPAやワークフローシステムの導入）を進める。

2. デジタル化の最適化

- 書類の電子化やクラウドサービスの活用で、紙やハンコに依存しない業務環境を整える。
- デジタルツール導入時に、現状プロセスをそのまま移行せず、効率的なフローを設計。

3. 生成AIや先進技術の活用

- 生成AIを活用して、ドキュメント作成や問い合わせ対応を効率化する。
- ビッグデータや分析ツールを用いた業務効率の改善。

4. 部門横断的な連携強化

- 部門間の情報共有を円滑にするためのシステムを導入。
- 組織全体で「全体最適」を目指す文化を構築。

5. 人材育成と働き方改革

- スキルアップのための教育・研修を提供し、社員の能力を高める。
- リモートワークやフレックスタイムなど柔軟な働き方を導入し、業務効率を向上。

6. 目標設定と評価制度の改善

- 明確で実現可能な目標を設定し、進捗を定期的にレビュー。
- 成果を評価する仕組みを導入してモチベーションを向上させる。

タスク管理ツール

プロジェクト管理ツール

ナレッジ管理ツール

生成AIツール

デジタル人材の育成

上記による『仕事の見える化』
で明確な目標設定と評価

厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

日本の生産性につ
いて

生産性低下の理由

生産性向上の解
決策

各分野の生産性
向上の割合

各分野の期待される生産性向上

McKinsey & Companyの調査
IDC (International Data Corporation) の調査
Forresterの調査
その他、KPMG、GMOリサーチなどの調査レポートによる

厚生労働省の
発表情報

労働人口減少への
対策

日本の生産性につ
いて

生産性低下の理由

生産性向上の解
決策

各分野の生産性
向上の割合



タスク管理ツール
プロジェクト管理ツール

納期遵守率 : 50%以上

従業員満足度 : 80%以上

生産性向上 : 30%以上

業務コスト削減 : 60%以上



ナレッジ管理ツール

生産性向上 : 35%以上

従業員満足度 : 50%以上

業務コスト削減 : 35%以上



生成AI(人工知能)

生産性向上 : 35%以上

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

費用対効果

最後に

情報管理とナレッジ管理の違い

ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

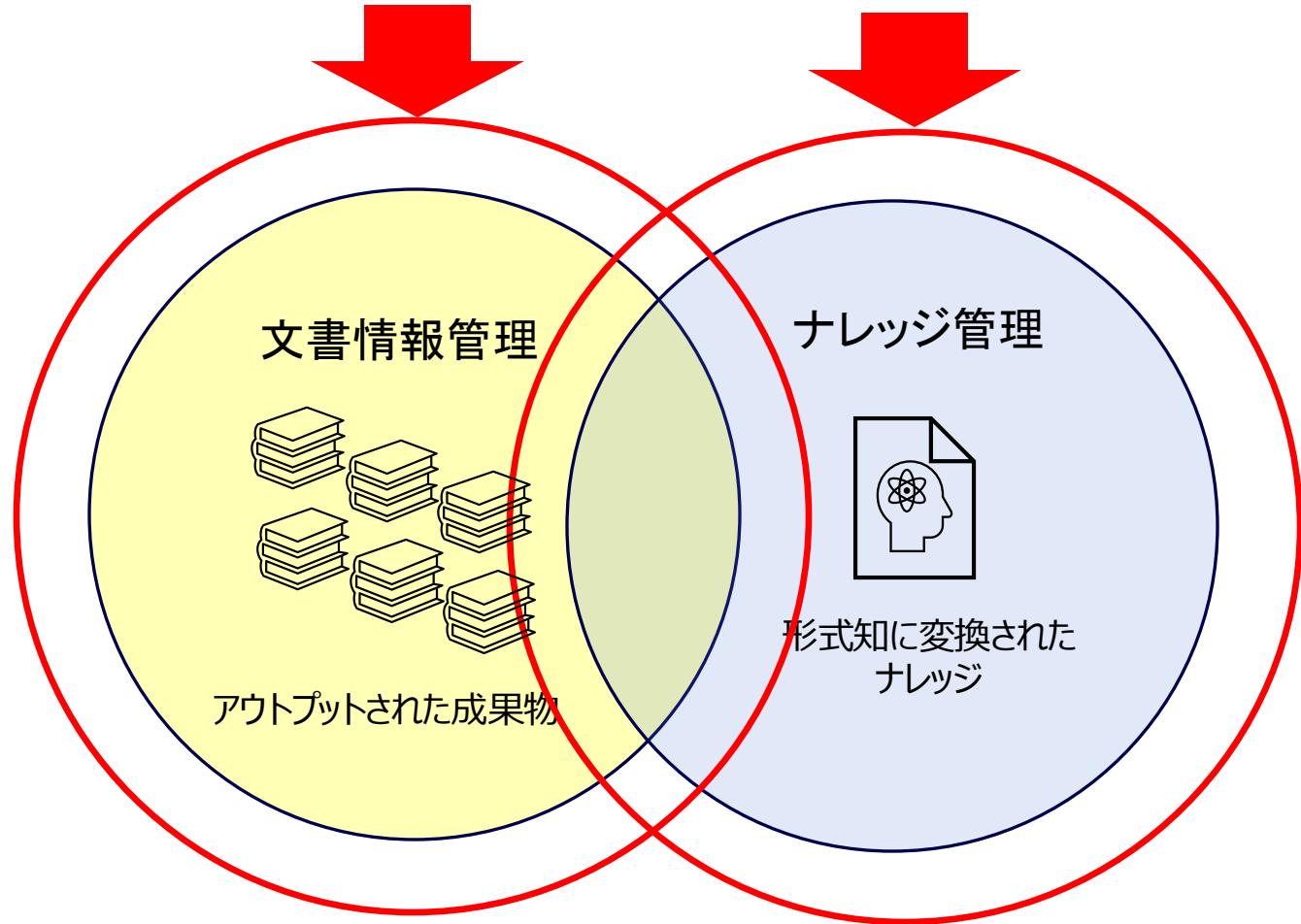
ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理に
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

いままで
実践してきたこと

やっているようで
やっていなかったこと



情報管理とナレッジ管理の違い

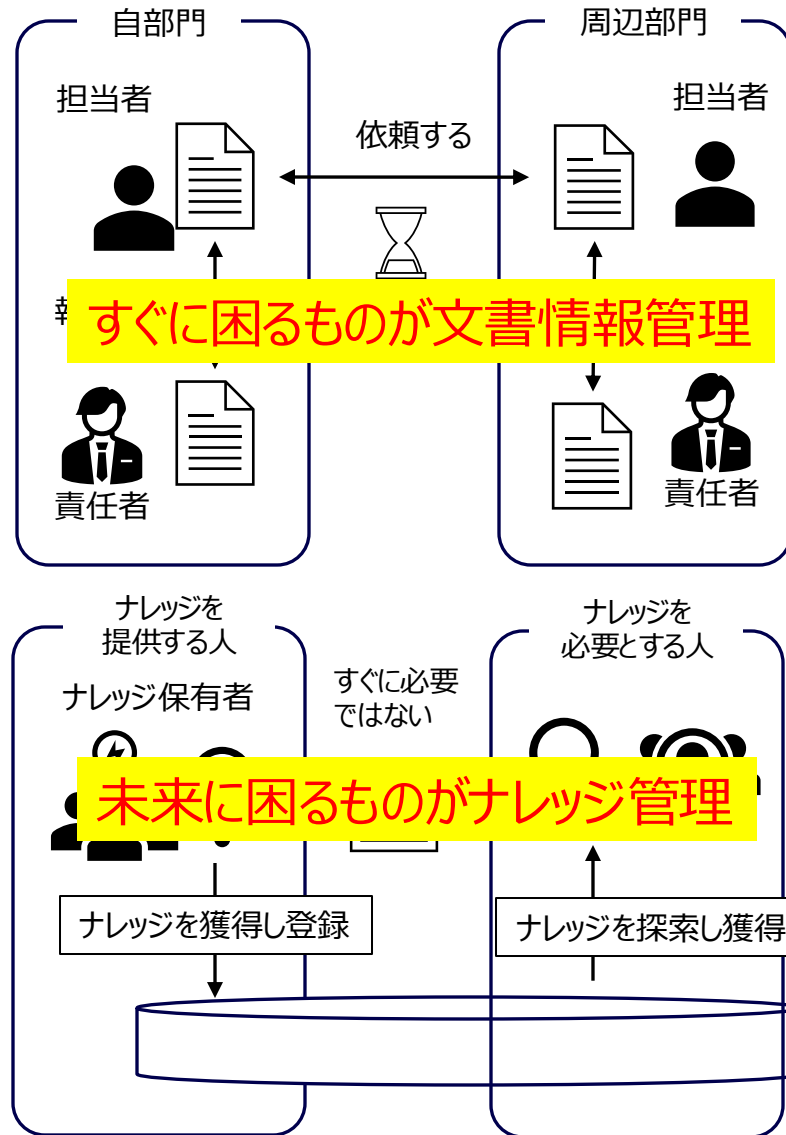
ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理には
仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル



文書は、業務プロセスを円滑に進めるものであり、伝えたい相手が明確な情報伝達手段である

文書は、作成しないと影響がすぐに発生するもの

ナレッジは知識ベースであり、必要なときに必要な情報を獲得できればよい。あれば助かるが、なくてもすぐには困らない

ナレッジは、作成しなくても影響がすぐに発生しないもの

放置することで発生するリスク

ナレッジが消失

現在、できていることが、できなくなる

同じ失敗を繰り返す、手探りで進行する

生産性は急激に低下する

日々の業務をこなすだけで精一杯

人材不足が加速

サービス品質が低下し売上減少

衰退方向へ



ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理に
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

ナレッジ管理には仕組みが必要

ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理に
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

ナレッジが共有されて **X** い = 共有しない人が悪い

情報を共有しない人

01 コミュニケーション不足な人

- ・一方通行：自分の情報は話さず、他人からの情報だけ求める。
- ・相談なし：問題が発生しても相談せず、後で大問題になる。
- ・説明不足：説明が不十分で、他人が何をすれば良いかわからない。

02 高圧的態度の人

- ・批判的：他人の意見を批判し、自分のやり方を押し付ける。
- ・否定的：他人のアイデアや提案を否定し、共有を妨げる。
- ・威圧感：威圧的な態度で他人を黙らせる。

03 高圧的

- ・命令口調：常に上から目線で指示を出す。
- ・強制：断れないような状況を作る。
- ・威圧：プレッシャーをかけて無理やりらせる。



04 自己中心的な人

- ・自分優先：自分の都合で情報を操作し、他人のことを考えない。
- ・感謝なし：他人の協力を得ても感謝せず、当然と考える。
- ・責任逃れ：問題が発生すると他人に責任を押し付ける。

05 成長する気がない人

- ・学習しない：過去の失敗から学ばず、同じミスを繰り返す。
- ・改善しない：自分の行動を改善せず、成長がない。
- ・フィードバック無視：他人からのフィードバックを無視する。

06 非協力的な人

- ・協力しない：他人の仕事を手伝わず、自分の仕事だけする。
- ・助けを求めない：問題が発生しても他人に助けを求めない。
- ・チーム無視：チームの目標や方向性を無視する。

ナレッジ管理の実践サイクル

ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

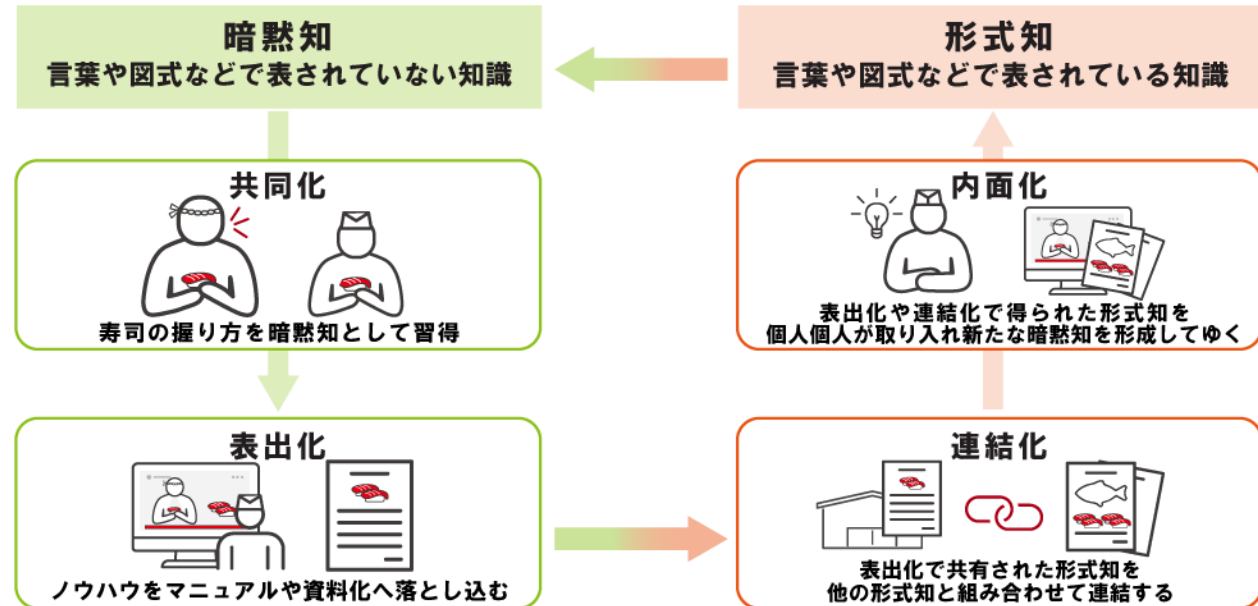
ナレッジ管理に
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル

ナレッジマネジメントの実践サイクル

ナレッジマネジメントとは、個人に属しがちな知識や情報を
チームなどの組織全体で共有し、集合知として活用するマネジメントスキーム

【SECIモデルによるナレッジマネジメントの実践サイクル例】



ナレッジマネジメントを導入・実践すると、
組織のプロブレム・ソルビング（問題解決）能力やイノベーション能力が向上する

ナレッジ管理の実践サイクル

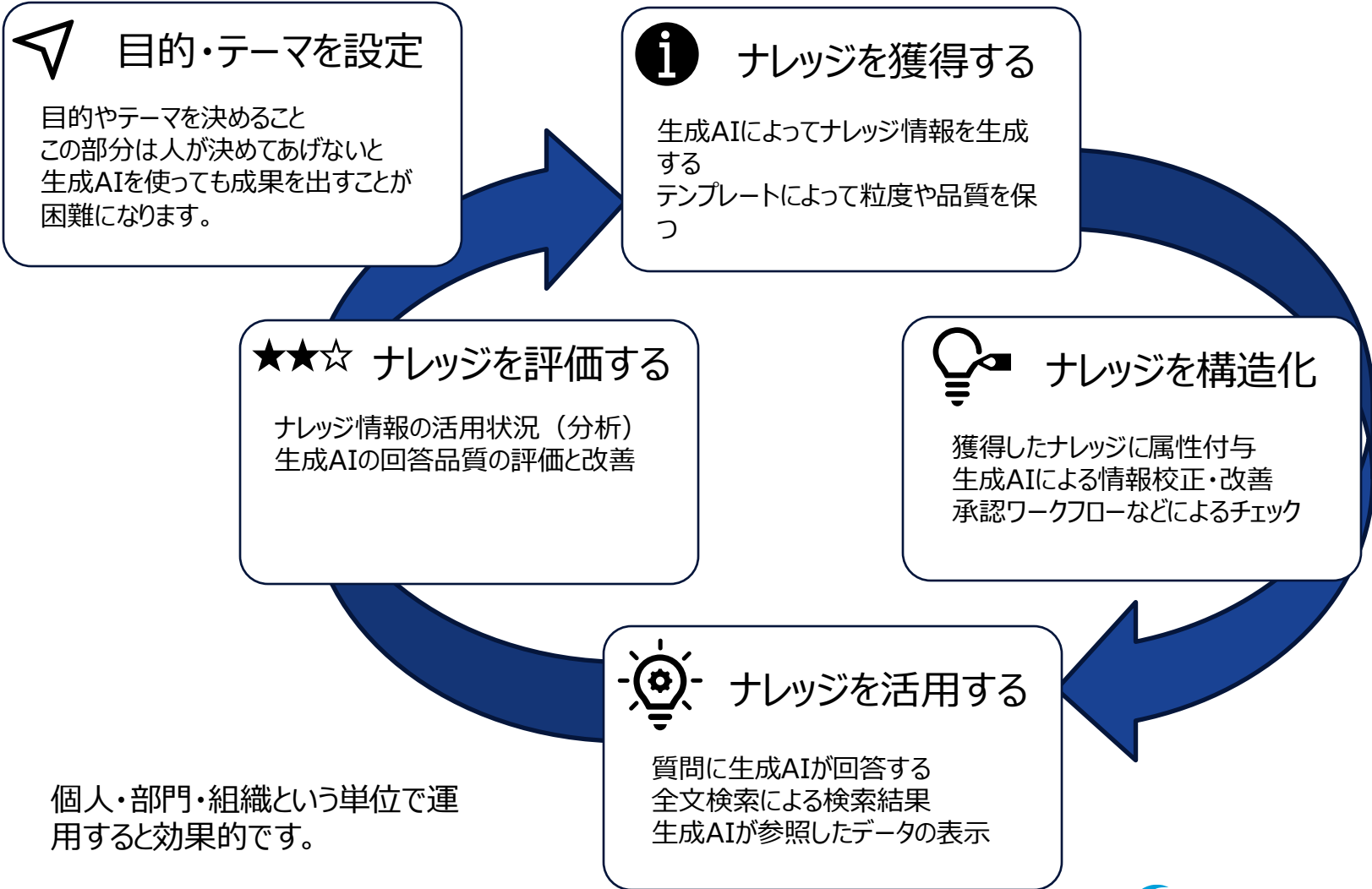
ナレッジ管理の
課題

情報管理とナレッ
ジ管理の違い

ナレッジ管理を
放置することの
リスク

ナレッジ管理に
は仕組みが必要

ナレッジ管理の
実践サイクル



個人・部門・組織という単位で運
用すると効果的です。

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

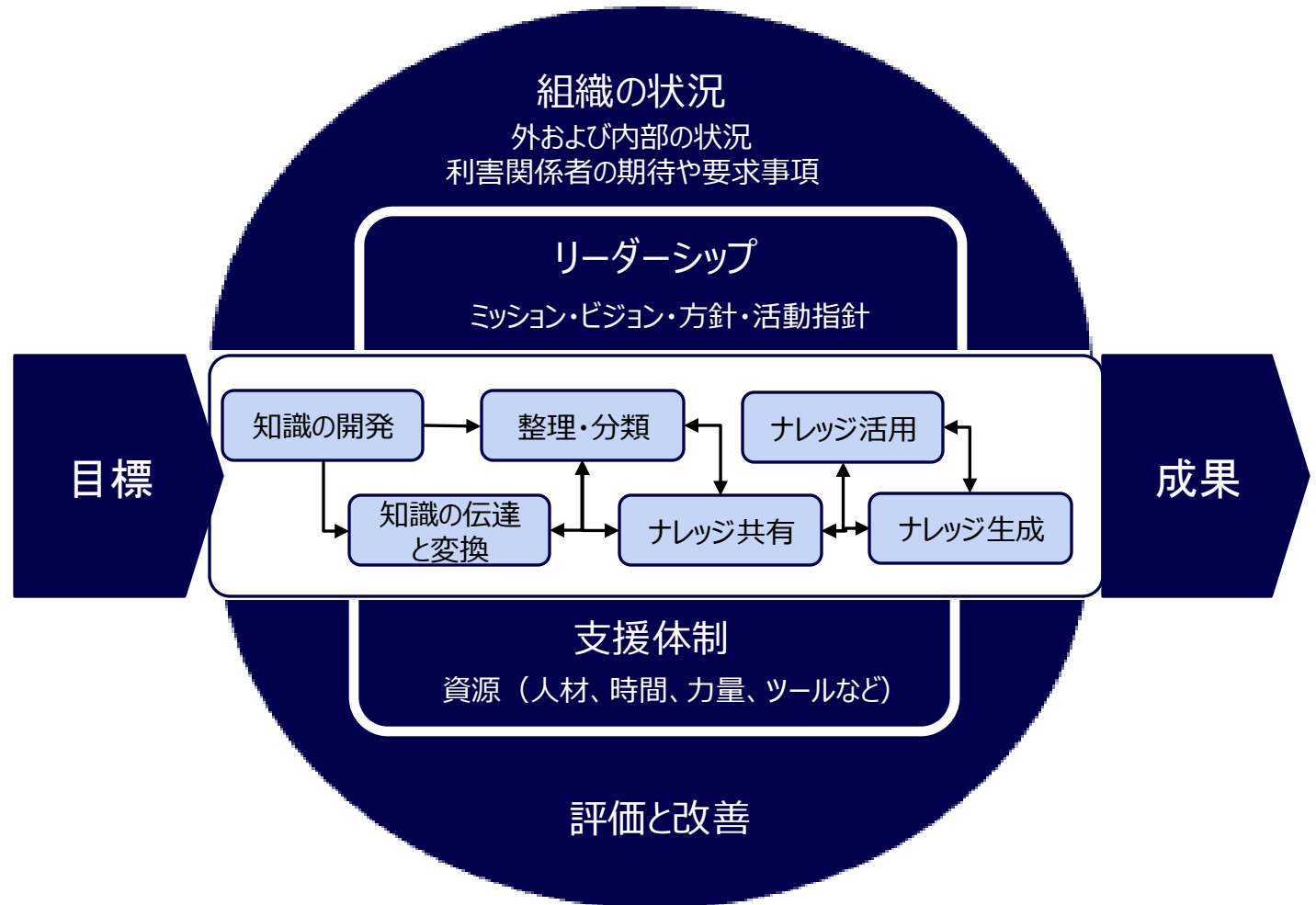
費用対効果

最後に

ナレッジ管理のマネジメント

ナレッジ管理の
マネジメント

成果を出すための
ナレッジ管理
の流れ



ISO30401(ナレッジマネジメントシステム)の概要図

成果を出すためのナレッジ管理の流れ

組織の状況を把握

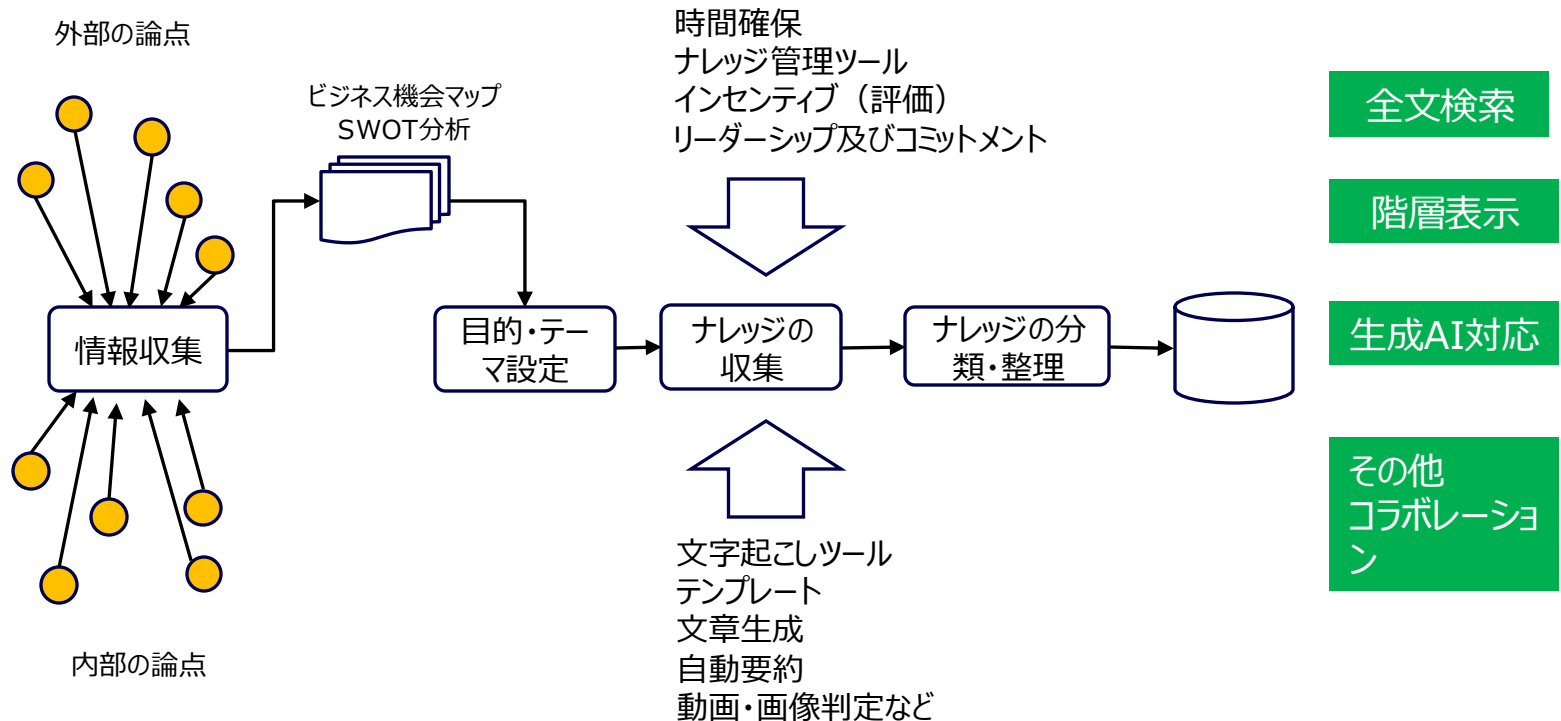
必要なナレッジの獲得

ナレッジの分類

ナレッジの伝達

ナレッジ管理の
マネジメント

成果を出すための
ナレッジ管理
の流れ



ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

費用対効果

最後に

ナレッジ管理の未来

デジタル
クローン



[alt BRAIN | welcome into the world of BRAINs](#)

人的情報を生成AIが学習することで、その人物のクローンとして活動することができる。
すでに実用段階に入りつつあり、β版ではあるが「メール返信しておいて」「資料を作成して」などの仕事の依頼に応えて業務を行うレベルに到達している。

知識・ナレッジ、価値観、やり方などを再現し、優秀な人材をAI的リソースとして活用可能となる。

ナレッジ管理の未来

デジタル
クローン



食材（情報・ナレッジ）の獲得



食材（情報・ナレッジ）を調理



料理を（情報・ナレッジ）を食べる
AIであればファインチューニング
人であれば蓄積・経験・体験



優秀な生成AIとして育つ



ナレッジ管理の未来

デジタル
クローン

目的
管理

表出化
属性
量

食材

を調理

リ
ーン
の糸

換
レン
グ

優秀な生成AIとして育つ

料理を（情報・ナレッジ）を食べる
AIであればファインチューニング
人であれば蓄積・経験・体験

生成AIを使うなら
良質なナレッジ
（美味しいご飯）
を与えましょう

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

費用対効果

最後に

登録・変更・削除

- ・ 文書の作成
- ・ 表計算の作成
- ・ ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』とは

イノベーションを加速させる先進的なナレッジ&コラボレーション管理ツール

ONES Wiki (ワンズウィキ) は、通常ナレッジ管理機能に加え、生成AI: Copilotを追加できる。先進的なナレッジ管理ツールです。情報、ナレッジ (知識・経験) を蓄積し、すばやい発見・気づきによって組織の生産性を劇的に向上させることができます。



スペースの階層構造とダッシュボード

テンプレートによる質と量を確保

Microsoft Wordのような操作性

情報を共有する

作図機能による優れた表現

知的創造を促進させる機能



ER図やシステム構成図など



フローチャート / UML など



ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

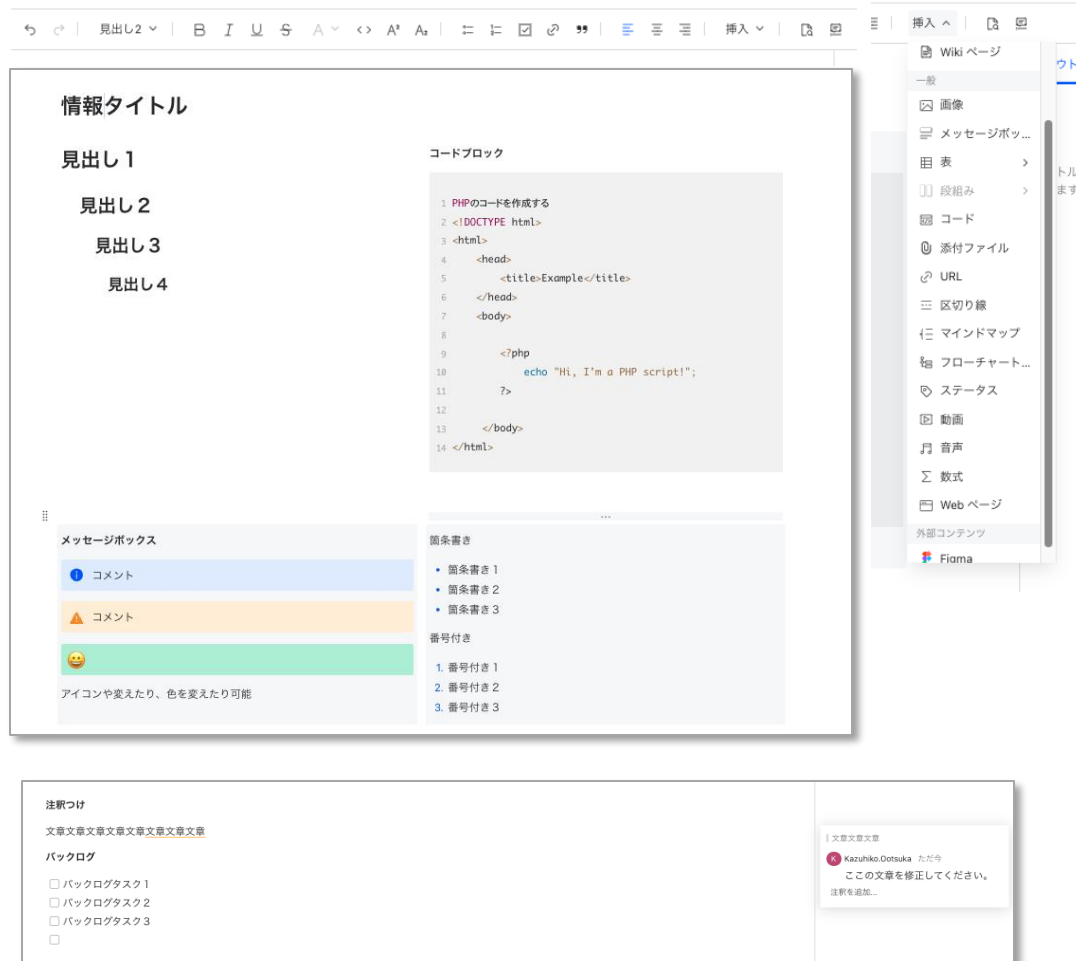
品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

登録・変更・削除

ONES Wikiは、Microsoft Wordのように簡単に情報ページを作成できます。必要な情報を正確に伝える表現力にも優れています。



Wordのように簡単に

優れた表現力で伝える

同時編集による共同作業・コラボレーション

生成AIによる文書作成も可能



アノテーション（注釈）機能で共同作業ができます。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

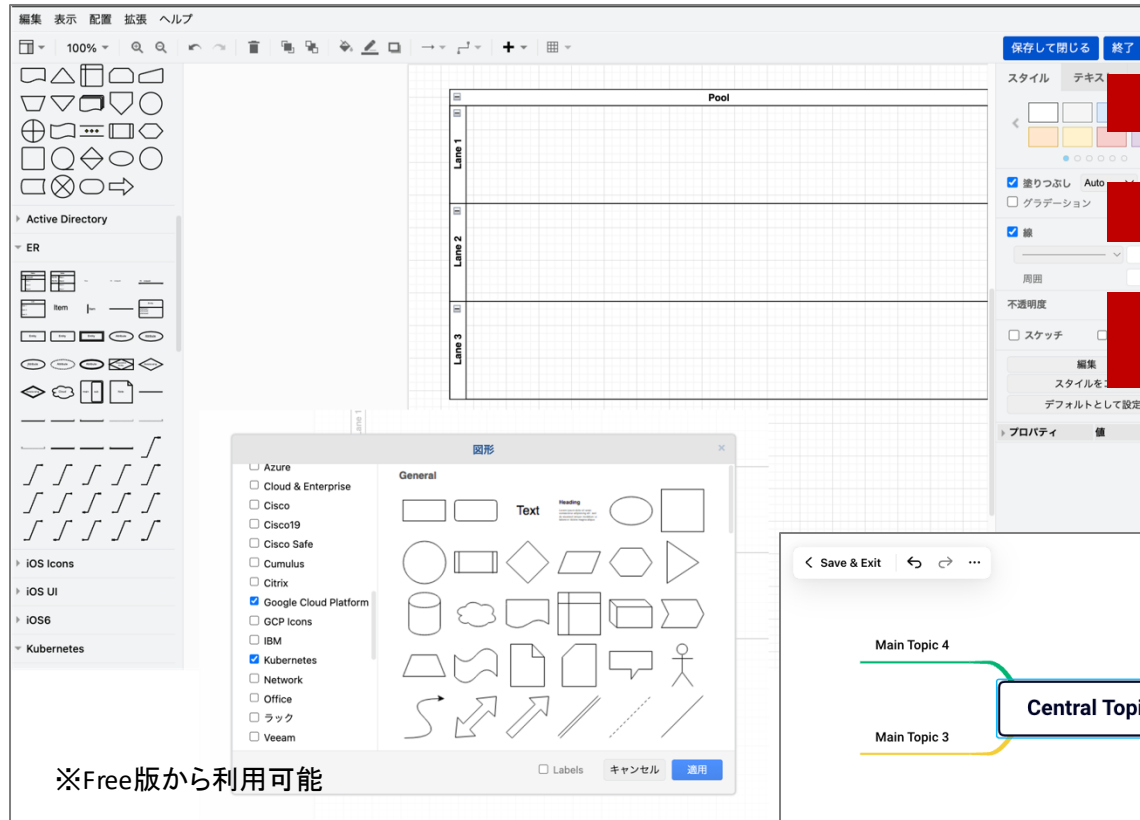
品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

登録・変更・削除

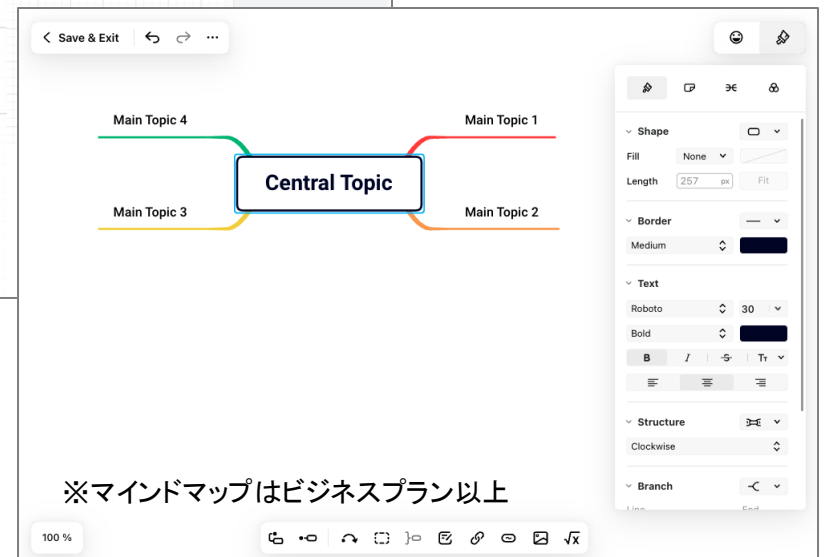
ONES Wikiには、標準機能でMicrosoft Visioのような作図機能、マインドマップ作成機能など、本来であれば専用ソフトの購入が必要な機能が標準提供されています。



Visioのような高度な作図

高額の専用ソフトは不要

マインドマップや作図で知的創造ナレッジ



登録・変更・削除

ONES Wikiには、Microsoft Excelのような表計算機能が標準提供されています。関数やグラフ、複数シートの作成、フィルタ機能や入力規則など表計算ソフトとして十分すぎる機能が提供されています。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

The image is a collage of screenshots from the ONES Wiki application, demonstrating its spreadsheet capabilities. The screenshots show various views: a blank spreadsheet, a spreadsheet with data, a filter menu, and a sorting menu. Red callout boxes highlight specific features:

- Excelのような表計算 (Excel-like spreadsheet calculation)
- 多彩な関数が利用可能 (Various functions are available)
- フィルタ機能が抽出 (Filter function is extractable)
- グラフ化なども可能 (Graphing etc. is also possible)
- テンプレート化も可能 (Template creation is also possible)

番号	製品名	単価	数量	合計
1	製品A	500	2	C2*D2
3	製品B	1000	3	¥3,000

数量	合計
2	¥1,000
3	¥3,000

Filter menu options:

- 値でフィルター (Filter by value)
- 色でフィルター (Filter by color)
- 条件でフィルター (Filter by condition)

Sort menu options:

- 昇順 (Ascending)
- 降順 (Descending)

登録・変更・削除

ONES Wikiでは、Microsoft Wordファイル、またはConfluenceからのデータインポートが可能です。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・ 文書の作成
- ・ 表計算の作成
- ・ **ファイルのインポート**

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

ナレッジベース管理 | ホームページ

機能確認用 | サンプ... +

ページタイトルを検索

Wiki コラボページ

スプレッドシート

2023年07月31日 14時14分に編集しました

Wiki コラボページとしてインポート > .doc/.docx をインポート

Confluence をインポート

ページを編集するには

ホームページで、プロジェクトの目標や後続の計画などについて説明

株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (以下「甲」という) と (以下「乙」という) は、甲乙間における発注もしくは発注のため情報開示するソフトウェア開発関連業務 (以下「本業務」という) に関わる機密保持の取扱いに関し、以下の通り契約 (以下「本契約」という) を締結する。

ファイル名：【ひな形】機密保持契約書.docx

第1条 (開示者、被開示者の定義)

本契約において「開示者」とは、開示者及び被開示者のうち、相手方から情報を開示・提供し、または開示・提供する立場にあるものをいい、「被開示者」とは開示者及び被開示者のうち、相手方より情報の開示・提供を受け、または受ける立場にあるものをいう。

第2条 (機密情報の定義)

本契約において、「機密情報」とは、本取引に関して開示者が被開示者に開示または提供した一切の情報のうち、開示者が被開示者に開示または提供した仕様書、プログラム、図面、製品サンプル、ソフトウェア、その他すべての技術上及び営業上の情報をいい、口頭、書面または電磁的方法によるかを問わず秘密保持が求められている情報は機密情報には該当しない。

- 1) 開示者が被開示者に開示したとき既に公知であった情報
- 2) 開示者が被開示者に開示した後、被開示者の従業員、役員、顧問、委託先、または第三者から独立して公知となった情報
- 3) 開示者から開示を受ける前に被開示者が自ら公知となった情報
- 4) 開示者の開示後、被開示者が譲渡もしくは開示した情報

第3条 (機密情報の保持)

被開示者は、機密情報を厳重に管理すると共に、

株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (以下「甲」という) と (以下「乙」という) は、甲乙間における発注もしくは発注のため情報開示するソフトウェア開発関連業務 (以下「本業務」という) に関わる機密保持の取扱いに関し、以下の通り契約 (以下「本契約」という) を締結する。

【ひな形】機密保持契約書

大塚 和彦 2024年04月10日 08時02分に編集しました

機密保持契約書

1. (開示者、被開示者の定義)

本契約において「開示者」とは、開示者及び被開示者のうち、相手方に情報を開示・提供し、または開示・提供する立場にあるものをいい、「被開示者」とは開示者及び被開示者のうち、相手方より情報の開示・提供を受け、または受ける立場にあるものをいう。

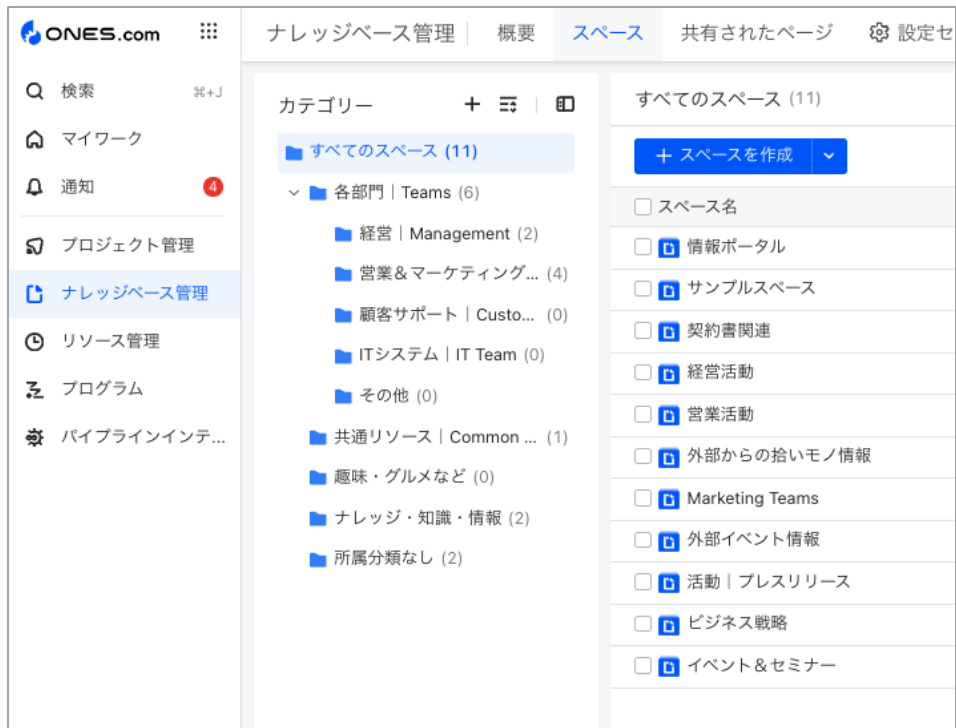
- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

情報やナレッジを素早く発見するには、情報の構造化と優れた検索機能が必要不可欠です。

情報の構造化と階層表示

スペースの構造化による階層表示



ページの構造化による階層表示



視覚的に整理された情報として視認性に優れ、
必要な情報へ到達することを容易にします。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

発見・把握する

3つの共通機能の「検索」によって、すばやく情報に到達する



3つの共通機能で生産性を大幅に向上

ONES製品の3つの共通機能が生産性を劇的に向上させます。組織の生産性を向上させるには共通言語、共通機能、共通インターフェースなど複数部門を横断した共通プラットフォームが重要な要素となります。

ONES製品は、組織横断したナレッジ管理を実現するために3つの共通機能を提供します。

検索結果は視点を変えて表示



検索キーワードからページ、スペース、添付ファイル（ファイル内部も含む）を3つの視点で全文検索します。※すべての検索結果を1つのビューで表示するのは生産性が上がらない場合があります。

条件による絞り込みも可能です。

全文検索できるだけでなく、検索結果をわかりやすく表示する工夫がされています。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・ 文書の作成
- ・ 表計算の作成
- ・ ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

発見・把握する（生成AI検索）

The screenshot shows the Copilot interface with a search query 'ONESのインストール方法は？'. The response is a list of 6 steps for installing ONES, with terminal commands for each step. The response area is highlighted with a red border. Below the response, there are search results from the ONES Wiki, including a document titled 'ONES製品オンプレミス版の最新インストール' and a goal for '2024-05-14 今日のゴール'. At the bottom, there are two suggested follow-up questions: 'ONESのアンインストール方法は？' and 'ONESのオフラインインストールとオンラインインストールの違いは？'.



生成AI検索とは、生成AI『Copilot』を活用した画期的なナレッジ検索機能です。

外部に情報を参照せず、お客様が契約したONES Wiki内の情報から『Copilot』が回答を返します。

また、回答の情報元となった参考データも表示されるため、ユーザーが知りたいこと、やりたいことを入力するだけで適切な情報を確認することが可能です。

お客様のONES Wiki内の情報をもとに生成AIが回答します。

回答結果を評価します。

回答の元データを表示します。

さらに深掘りする質問を提案します。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

変化を察知・通知する

ウォッチしているページに変更があったり、@マークでメンションされた場合、関連メンバーは通知メッセージを受け取ります。
通知方法を選択した後、ページの編集、コメント、削除、復元時には、ページのフォロワーに通知メッセージが送信されます。
@メンバーの場合には、@された人にも通知メッセージが送信されます。



情報・ナレッジへの注釈やコメント、メンションによるコミュニケーション

ウォッチ機能で、自分やチームに関連した情報の変化を通知で受け取る

さまざまな通知方法が可能です。

通知方法

- ・ ONES製品へ通知 ※左図参照
- ・ デスクトップ通知
- ・ メールで通知
- ・ Slack / Teamsへ通知

情報の変化に気づくことで最新情報を知ることができます。
情報を届ける・伝えることにも利用できます。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・ 文書の作成
- ・ 表計算の作成
- ・ ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

情報の品質と粒度を整える（テンプレート機能）

人によって、情報の質や量が異なると情報管理としてもナレッジ管理としても効果が低くなってしまいます。ONES Wikiでは、豊富なテンプレート機能によって情報の品質と粒度を整えることができます。



豊富な標準テンプレート提供

独自のテンプレート作成可能
※Wordファイルをインポートも可能

テンプレートの利用範囲も制限

- ・ スペースのテンプレート
- ・ 全体のテンプレート



情報の質と量は、情報管理、ナレッジ管理において活用の可否を左右する重要な要素です。テンプレート機能は必須機能だと考えてください。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

情報のトラッキング（変更履歴）

情報管理、ナレッジ管理としてだけでなく、ISO（国際標準化機構）においても、変更履歴管理は必須機能となります。ONES Wikiは、過去の変更履歴だけでなく、バージョン同士を比較し、追加・変更・削除された部分を明確にします。マウスオーバーすると誰が追加、変更、削除したのかが表示され、履歴にコメントを残すこともできるため、ISO（国際標準化機構）への要求にも対応することができます。

ページ履歴 ログアウト

現在のバージョン： 2024-01-29 12:57 最新 と 2023-07-14 09:00 を比較する

新製品エコワイズ XXXX501α(EcoWise)：企画書

関係者が要件を理解し、よりスムーズに開発、マーケティングを行えるよう、製品の機能や特徴を記入します。

- ▼ **H コンセプトA**
 - 高効率と省エネルギー: エコワイズは、プラントの冷却システムにおいて高い効率と省エネルギー性を実現します。最新の技術と革新的な設計により、冷却プロセスでのエネルギー損失を最小限に抑え、エネルギー効率を最大化します。
 - 高信頼性と耐久性: エコワイズは、長期間にわたって安定した動作を維持するために、高い信頼性と耐久性を備えています。厳しい環境条件下でも優れたパフォーマンスを発揮し、プラントの運用の安定性を確保します。
 - 柔軟性と適応性: エコワイズは、様々なプラントの冷却ニーズに柔軟に対応します。異なる規模や用途に応じて調整可能な設計や、多様な制御オプションを提供することで、顧客のニーズに最適な冷却ソリューションを実現します。
 - 高度な制御とモニタリング: エコワイズは、高度な制御機能とリアルタイムのモニタリング機能を備えています。自動制御システムやデータ解析により、最適な冷却効果を維持し、運用効率を最大化します。
 - 環境に配慮した設計: エコワイズは、環境への配慮を重視した設計を採用しています。環境負荷を最小限に抑えるための低騒音、低振動設計や、環境にやさしい冷媒の使用など、持続可能な冷却ソリューションを提供します。

このようなコンセプトに基づいて、エコワイズはプラント用冷却コンプレッサーとして市場において優れたパフォーマンスと環境負荷の軽減を提供することを強調します。

- kkkk
- llll
- mmmm

変更履歴を参照・表示・復元

変更履歴を比較、差分表示

変更履歴にコメント付与

情報・ナレッジの変更履歴管理は、国際的にも必須要件
 となっています。
 ONES Wikiであれば要件を満たすことができます。

ONES Wikiについて

登録・変更・削除

- ・文書の作成
- ・表計算の作成
- ・ファイルのインポート

発見・把握する

変化を察知・通知する

品質と粒度を整える

情報のトラッキング

プロセスと統合する

プロセスと情報を統合したナレッジ管理

情報管理をナレッジ管理に変えるためには、5W1Hの要素を付与することが重要な要素です。最近のワークスタイルでは、タスク管理、プロジェクト管理などの工程（5W1H）と情報を紐付けすることでナレッジとして活用しやすくなると言われています。この情報が、どのような時に使われたのか？それが把握できる、できないでは大きな差になります。

The screenshot displays the ONES Wiki interface. On the left, a project plan titled 'プロジェクト計画' (Project Plan) is visible, showing a Gantt chart for the month of December 2023. The plan includes tasks such as '販売・流通ネットワー...' (Sales/Distribution Network), 'マーケティング戦略の...' (Marketing Strategy), and '製造プロセスの設計' (Manufacturing Process Design). On the right, a document titled 'パフォーマンス評価' (Performance Evaluation) is shown, detailing a review conducted on October 12, 2023, at 16:59. The document structure includes sections for '9 パフォーマンス評価' (9 Performance Evaluation), '9.1 観察, 測定, 分析及び評価' (9.1 Observation, Measurement, Analysis, and Evaluation), and '9.1.1 概論' (9.1.1 Overview).

- ・ タスクの中間成果物
- ・ 契約で約束された最終成果物
- ・ 進行中のメモや議事録など

ONES Wikiは、タスク管理、プロジェクト管理『ONES Project』を完全統合が可能です。業務プロジェクトや営業活動などの業務において5W1Hで発生した情報を紐付けすることが可能になります。

※この機能にはONES Projectが必要です。

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

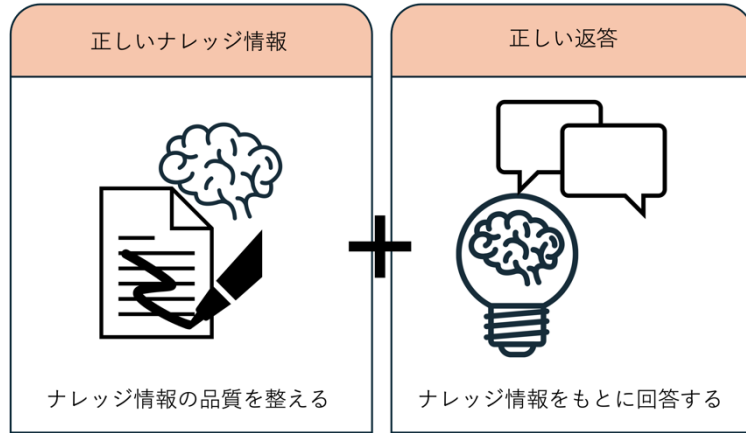
費用対効果

最後に

ONES Wiki Copilot機能

優れた生成AI機能『Copilot』

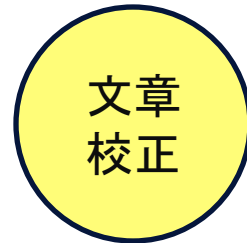
正しい情報から正しい返答



未経験でも生成AIがサポート

- 要件定義書
- ブログ
- プレスリリース
- マーケティング計画書
- ビジネス戦略立案
- など

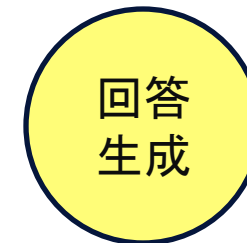
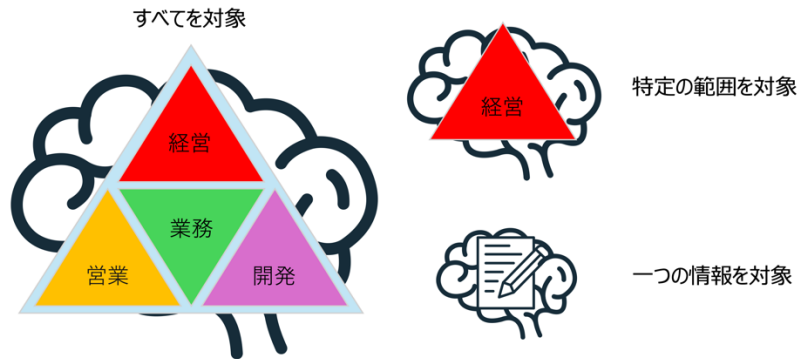
文章が苦手でも生成AIがサポート



- 文章の「改善」「校正」
- 文章の「長くする」「短くする」
- 文章の翻訳（英語、日本語、中国語）
- 要約、アウトライン化、続きの文章生成

範囲を絞った生成AIの返答

ONES Wikiの生成AIは、対象範囲を限定できる



全体もしくは範囲を絞った回答生成

- 全体、スペース単位、ページ単位、ファイル単位という単位で生成AIに質問することができ、回答を生成を行います

PDF、動画ファイルに対しても生成AIに質問可能

用途に応じた参照範囲

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

用途に応じた
参照範囲

良質な情報・ナレッジを作成


属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

生成AIに原案を生成してもらおう

生成AIが文書の原案を作成します。

○ プロジェクト立ち上げ文書を書いてください。| 生成する

ナレッジベース管理 保存済み  ↓

タイトルを入力してください

○ Copilot が文章を生成しました。

プロジェクト立ち上げ文書

プロジェクト概要

本プロジェクトは、組織のデジタルトランスフォーメーションを推進し、業務効率化と顧客満足度の向上を目的としています。最新の技術と革新的なアプローチを駆使し、持続可能な成長を目指します。

目的

1. 業務効率化: デジタルツールを導入し、手動プロセスを自動化します。
2. 顧客満足度向上: 顧客のニーズに迅速かつ的確に応えるシステムを構築します。
3. コスト削減: 効率的な運営を通じて、運用コストを削減します。
4. データ活用: データ分析を通じて、意思決定の質を向上させます。

挿入

Copilot の生成コンテンツはあくまでご参考までに。 👍 🔄

良質な情報・ナレッジを作成

生成AIの文章チェック

生成AIが作成した文書ページを改善、校正などを行います。

ONES Wiki
Copilot機能

用途に応じた
参照範囲

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

The screenshot displays the ONES Wiki Copilot interface. On the left, a sidebar menu lists various actions: '改善' (Improve), '校正' (Proofread), '長くする' (Lengthen), '短くする' (Shorten), '選択した文章に基づいて生成する' (Generate based on selected text), '要約' (Summarize), 'ToDo リスト作成' (Create To-do list), '翻訳' (Translate), '続きを書く' (Continue writing), and '文章を生成する' (Generate text). The main content area shows a document titled 'AIの革新と自然法則' (AI Innovation and Natural Laws). A text box contains the prompt: '選択した文章をどう改善したらいいですか。それともその続きを書きますか。Copilot に教えてください。' (How should I improve the selected text? Or should I continue writing it? Please tell me, Copilot.) with a '生成する' (Generate) button. Below this, a notification states: 'Copilot が文章の誤字・脱字・文法ミスを修正しました。' (Copilot has corrected typos, missing characters, and grammar mistakes in the text.) with '挿入' (Insert) and '置換' (Replace) buttons. The final view shows the corrected text with a 'Copilotの生成コンテンツはあくまでご参考までに。' (Copilot's generated content is for reference only.) notice.

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

用途に応じた
参照範囲

良質な情報・ナレッ
ジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発
見

元の文章

人工知能（AI）は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。ああ、この技術は、データを解析しパターンを識別することで、私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しており、それぞれの進歩が新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。

生成AIの実行結果

文章の改善と校正

改善	校正
<p>人工知能（AI）は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。この技術は、データを解析しパターンを識別することで、私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しており、それぞれの進歩が新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。</p>	<p>人工知能（AI）は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。この技術は、データを解析しパターンを識別することで、私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しており、それぞれの進歩が新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。</p>

良質な情報・ナレッジを作成

文章量の調整

長くする

人工知能(AI)は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。AI技術は、膨大なデータを解析し、そこからパターンを識別する能力を持っています。この解析能力により、AIは私たちの生活に様々な革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。

例えば、医療分野では、AIが診断の精度を高めたり、新しい治療法を発見する手助けをしたりしています。具体的には、画像認識技術を用いて早期のがんを検出するシステムや、患者の電子カルテを分析して最適な治療法を提案するシステムなどがあります。また、環境保護の分野では、気候予測モデルの精度を向上させることで、自然災害の予測や対策を強化することができます。

AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しています。例えば、スマートホーム技術は、AIを利用してエネルギー効率を最適化し、家電製品の自動化を実現しています。これにより、電力消費の削減や生活の利便性が向上し、持続可能な生活が実現されます。

さらに、AIの進歩は新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動運転技術はその一例で、交通事故の減少や交通渋滞の緩和が期待されています。AIは交通データをリアルタイムで解析し、最適なルートを提案することで、ドライバーの負担を軽減し、安全性を高めます。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。教育分野では、AIが個々の学習者に合わせた個別指導を提供することで、学習効果を向上させることができます。また、ビジネス分野では、AIが市場動向を予測し、経営戦略の立案を支援することで、企業の競争力を強化します。

このように、AIは私たちの生活のあらゆる面で重要な役割を果たし、持続可能で効率的な未来を築くための鍵となる技術です。

短くする

人工知能(AI)は、データ解析とパターン識別を通じて私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIは自動化と個別化を通じて効率を高め、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。

ONES Wiki
Copilot機能

用途に応じた
参照範囲

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能用途に応じた
参照範囲

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発見

文章の要約

簡潔に	詳細に
<p>AIは自然法則に沿って進化し、データ解析で革新をもたらす、持続可能なソリューションを提供。自動化と個別化で生活を豊かにし、効率を高め、社会全体に意義ある変化を促す。</p>	<p>人工知能(AI)は、自然法則に基づいて進化し、実用的な問題を解決します。データ解析とパターン識別を通じて、生活に革新をもたらす、持続可能な解決策を提供します。AIの解決策は日常生活に密接に関連し、進歩ごとに新たな課題を克服し、イノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて生活を豊かにし、効率を高めると同時に、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。</p>

文章の翻訳

翻訳(英語)	翻訳(中国語)
<p>Artificial Intelligence (AI) evolves and develops in accordance with natural laws to solve practical problems. This technology brings innovation to our lives and provides sustainable solutions by analyzing data and identifying patterns. The solutions generated by AI, like natural laws, are closely related to our daily lives, with each advancement overcoming new challenges and promoting further innovation. Through automation and personalization, AI enriches our lives, enhances efficiency, and has the power to bring meaningful changes to society as a whole.</p>	<p>人工智能(AI)是沿着自然法则进化和发展的,用于解决实际问题。通过分析数据和识别模式,这项技术为我们的生活带来革新并提供可持续的解决方案。AI产生的解决方案与自然法则一样,与我们的日常生活密切相关,每一个进步都能够克服新的挑战,促进进一步的创新。通过自动化和个性化,AI在提高我们的生活质量和效率的同时,也具备对整个社会带来有意义的改变的力量。</p>

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

用途に応じた
参照範囲

良質な情報・ナレッ
ジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発
見

文章のつづきを書く

さらに、AI技術の進化により、新たな産業やビジネスモデルの創出が期待されています。例えば、ヘルスケア分野においては、患者の診断や治療計画の最適化、予防医療の推進など、より質の高い医療サービスの提供が可能となります。教育分野でも、個々の学習者に合わせたカスタマイズされた教育プログラムの提供が進められており、学習効果の向上が図られています。このように、AIは多岐にわたる分野で革新をもたらし、私たちの生活をより豊かで便利なものにする可能性を秘めています。

文章のアウトライン化

H₁ AIの進化と実用性に関する詳細なアウトライン

H₂ 序論

- 人工知能（AI）の定義と重要性
 - 自然法則に沿った進化・発展
 - 実用的な問題解決のための技術

H₂ AIの基本原則と技術

- データ解析とパターン認識
 - データ収集・整理の方法
 - パターン認識アルゴリズムの概要
- 機械学習とディープラーニング
 - 機械学習の基礎
 - ディープラーニングの応用例

H₂ AIの実用的な応用

- 日常生活への影響
 - スマートホームとデジタルアシスタント
 - ヘルスケアと医療分野でのAI
- ビジネスと産業への応用
 - 製造業における自動化
 - 金融業におけるリスク管理と予測分析

H₂ AIがもたらす革新と持続可能なソリューション

- 環境問題への対応
 - エネルギー効率の向上
 - 環境モニタリングと自然災害予測
- 社会の課題解決
 - 教育分野でのパーソナライズ学習
 - 公共交通機関の最適化

H₂ AIが直面する課題

- 倫理的・社会的問題
 - プライバシーとデータセキュリティ
 - AIバイアスと公平性の課題
- 技術的課題
 - AIの透明性と説明可能性
 - スケーラビリティとリアルタイム処理

H₂ 未来の展望

- AIの進化と次世代技術
 - 人工汎用知能（AGI）の可能性
 - ヒューマンインターフェースの進化
- 社会におけるAIの役割
 - 労働市場への影響
 - 新たな職業とスキルの創出

▼ 結論

- AIの持続的発展のための提言
 - 教育とリテラシーの向上
 - 国際的な協力と規制の必要性

良質な情報・ナレッジを作成

ONES Wiki
Copilot機能

用途に応じた
参照範囲

良質な情報・ナレ
ッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発
見

ファイルから情報抽出

ONES Wikiに添付された音声ファイルから文字起こしや要約、動画ファイルについても要約します。



動画ファイルから「文字起こし」「要約」を生成

この音声ファイルの内容は、ナレッジ管理ツール「ワンズウィキ」の説明に焦点を当てています。まず、ナレッジ管理の重要性とその要求事項について説明され、情報管理とナレッジ管理の違いが強調されます。情報管理はデータの収集、整理、検索、提供を含むプロセスであり、形式値と暗黙値の違いが説明されます。暗黙値はナレッジ管理において重要な要素であり、これを形式値に変換することが求められます。

次に、ワンズウィキの具体的な機能とその利点について説明されます。ワンズウィキはデジタルトランスフォーメーションとイノベーションを加速させるための先進的なナレッジ&コラボレーション管理ツールであり、タスク管理やプロジェクト管理と融合することで、5W1Hの情報管理を実現します。また、共同編集や作図機能、情報の構造化など、さまざまな機能が紹介されます。

さらに、ワンズウィキの特徴的な機能として、検索、マイワーク、通知の3つの機能が挙げられ、これらがナレッジ管理を効率化するための重要な要素であることが説明されます。検索機能では、複数の製品を横断して全文検索が可能であり、添付ファイルの中身まで検索できます。通知機能では、情報に変化があった際に迅速に気づくことができ、メールやスラック、Teamsなどで通知が行われます。

最後に、ワンズウィキのテンプレート機能とバージョン管理について説明されます。テンプレート機能は情報の品質と流度を整えるために重要であり、プロジェクトの進捗レポートやバグの報告書など、さまざまな用途に対応しています。バージョン管理機能では、過去のバージョンと現在のバージョンの差分を視覚的に確認でき、誰がいつ何を変更したかを簡単に追跡できます。これにより、国際的な標準に準拠したナレッジ管理が可能となります。

さらに、ワンズウィキはセキュリティと信頼性を重視しており、ISO認証やCMMIレベル3を取得しています。また、無料のeラーニングを提供しており、管理者向けの研修も無料で利用可能です。日本市場に対しても特化しており、日本語のマニュアルや利用規約を提供しています。システムコンシェルジュとして、継続的な成長と成功をサポートするための提案も行っています。

ナレッジ管理の重要性と要求事項

00:00:00

ナレッジ管理の要求事項と現状

情報管理とナレッジ管理の違い ワンズウィキの機能と利点

00:02:05

ナレッジ管理の重要性とワンズウィキの役割

情報管理とナレッジ管理の流れ ワンズウィキの特徴的な機能

00:05:45

ワンズウィキの基本機能

作図機能と情報の構造化

検索、マイワーク、通知機能 ワンズウィキの追加機能とライセンス体系

00:12:25

検索機能の詳細

通知機能の詳細

テンプレートとバージョン管理

プロセスと情報統合

ライセンス体系とプラン ワンズウィキのセキュリティとサポート

00:22:50

セキュリティと信頼性の確保

無料のeラーニングと日本市場向けサポート

システムコンシェルジュの役割

属性・カテゴリ

ONES Wiki
Copilot機能

カテゴリのアドバイス

生成AIにページ単位でも質問ができます。
カテゴリに悩んだ時は、生成AIに質問してみてください。

ホームページ > 生成AI結果レポート ☆

編集 共有 設定 その他

アウトライン 注釈 Copilot

生成AI結果レポート

大塚 和彦 2024年08月28日 15時12分に編集しました

元データ

人工知能（AI）は、自然法則に沿って進化・発展し、実用的な問題を解決するためのものです。ああ、この技術は、データを解析しパターンを識別することで、私たちの生活に革新をもたらし、持続可能なソリューションを提供します。AIが生み出す解決策は、自然法則と同様に、私たちの日常生活に密接に関連しており、それぞれの進歩が新たな課題を克服し、さらなるイノベーションを促進します。自動化と個別化を通じて、AIは私たちの生活を豊かにし、効率を高める一方で、社会全体に意義ある変化をもたらす力を持っています。

改善

人工知能（AI）は、自然法則に沿って進化・発展し、実用

現在ページは、どのカテゴリに登録した方がよいですか？

● 回答が生成されました。

現在のページは「AIの実用的な応用」カテゴリに登録するのが適切です。理由として、ページの内容がAIのデータ解析やパターン識別を通じて、医療、環境保護、スマートホーム、自動運転など、日常生活やビジネス分野での具体的な応用例を詳述しているためです。

回答は以下の内容に基づいて作成されています... ①

- 1 生成AI結果レポート

続きを質問する

用途に応じた
参照範囲良質な情報・ナレ
ッジを作成

属性・カテゴリ

情報・ナレッジの発
見

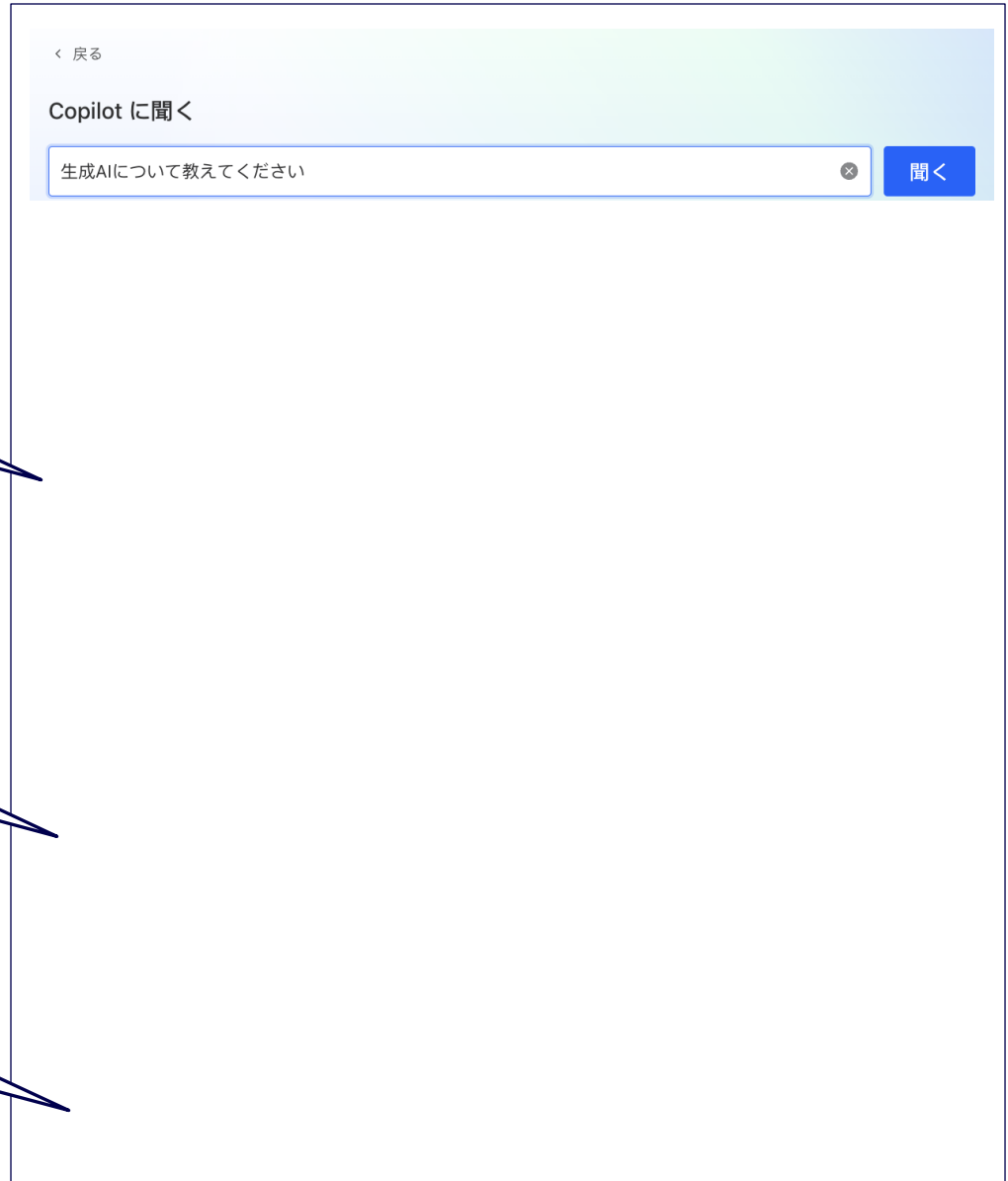
生成AI検索

生成AIへの質問からの返答

ONES Wiki内の情報・ナレッジから返答を生成

生成元データを表示

深掘りする質問を提案



ONES Wiki Copilot機能

用途に応じた参照範囲

良質な情報・ナレッジを作成

属性・カテゴリ

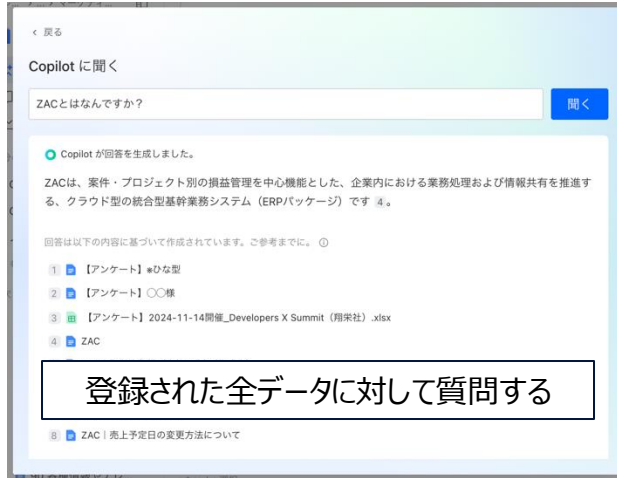
情報・ナレッジの発見

生成AI検索

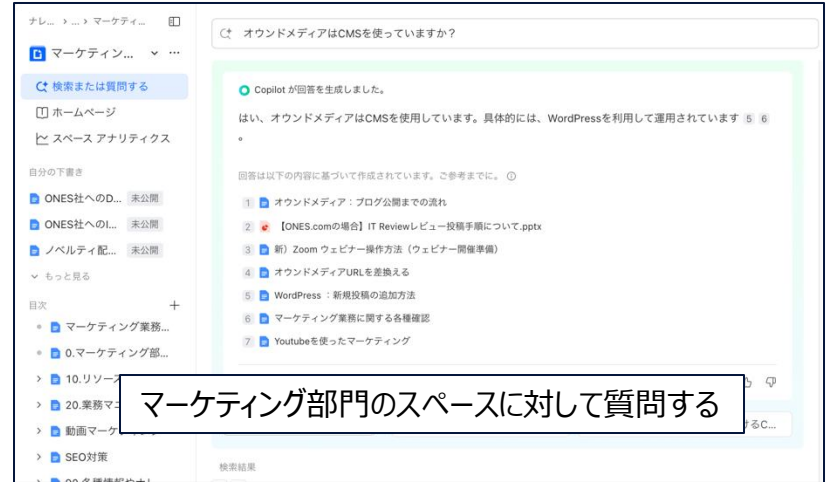
用途に応じて、生成AIが参照する情報・ナレッジを絞り込むことができます。

ONES Wiki
Copilot機能

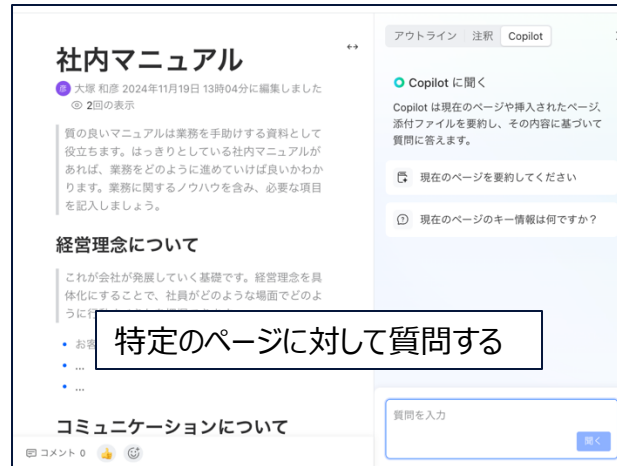
用途に応じた
参照範囲



良質な情報・ナレ
ジを作成



属性・カテゴリ



情報・ナレッジの発
見



ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

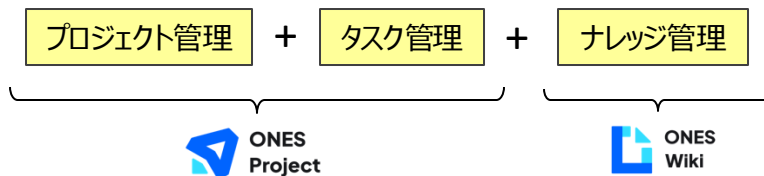
利用するには

費用対効果

最後に

ライセンス体系と価格

ONES製品とは、プロジェクト管理/タスク管理とナレッジ管理が統合されたプラットフォームです。



5ユーザーまで永続的な無料利用
※30ユーザーに変更予定 (2025年)

SaaS版のみ

SaaS版のみ

SaaS版のみ

オンプレミス版
もしくは
SaaS版を選択

フリー	スタンダード	ビジネス	エンタープライズ
プロジェクト管理ツールの導入が初めての方へ	プロジェクト管理における進捗追跡を効率化させたい方へ	ビジネス現場における全般のプロジェクトを管理されたい方へ	業務最適化により企業の競争力を強化されたい方へ
0 円/月 永久無料	年間契約 30% オフ 840 円/1ユーザー/月 月額 1,200 円/1ユーザー/月	年間契約 30% オフ 1,920 円/1ユーザー/月 月額 2,880 円/1ユーザー/月	年間契約 30% オフ 2,880 円/1ユーザー/月 月額 4,080 円/1ユーザー/月
製品 (機能制限あり) ONES Project, ONES Wiki	製品 (機能制限あり) ONES Project, ONES Wiki	製品 ONES Project, ONES Wiki, ONES Resource, ONES Plan, ONES Automation, Pipeline Integration, ONES Account, Code Integration	製品 ONES Project, ONES Wiki, ONES Resource, ONES Plan, ONES Automation, Pipeline Integration, ONES Account, Code Integration, ONES Performance
5ユーザーまで無料利用 ※30ユーザーに変更予定 (2025年)			
Cloud	Cloud	Cloud	Cloud, On-Premises

※1 価格は税抜です。
※2 一部のプロダクトはCloudとOn-Premisesにより利用可能な機能が異なる場合があります。

有料プランでは、
アドオンオプションをご提供します



600円/月額

※アドオンオプションは有料プランのみ追加可能です。

ライセンス体系と価格


価格体系
無料のEラーニング
日本語サポート
評価のお申し込み

フリー (無料)	スタンダード	ビジネス	エンタープライズ
<p>30ユーザーまで無料</p> <p>フリー (無料)</p> <p>プロジェクト管理ツール/ナレッジ管理ツールの導入が初めての方へ</p> <p>永久無料</p> <p>ストレージ無制限 / 監査ログ1年間</p>	<p>スタンダード</p> <p>プロジェクト管理における進捗追跡を効率化させたい方へ</p> <p>ストレージ無制限 / 監査ログ1年間</p>	<p>ビジネス</p> <p>ビジネス現場における全般のプロジェクトを管理されたい方へ</p> <p>ストレージ無制限 / 監査ログ1年間</p>	<p>エンタープライズ</p> <p>業務最適化により企業の競争力を強化されたい方へ</p> <p>ストレージ無制限 / 監査ログ1年間</p>
<p>主な機能</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理 (アジャイルと一般的なタスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトテンプレート スプリント管理 バックログ ダッシュボード / カスタムダッシュボード フィルタビュー (リスト、テーブル、カンバン) パブリックビュー / プライベートビュー ステータス / ワークフロー フィールドと課題タイプ プロジェクトのアーカイブ プロジェクトフィールド / カスタムフィールド <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> Wikiテンプレート (スペース / グローバル) スペースとページの権限管理 履歴バージョンと復元 強力な作図 Word / Markdownインポート / エクスポート <p>アクセス制御</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織構造 / グループ / ユーザーのロールと権限 <p>外部連携</p> <ul style="list-style-type: none"> Open API Zapier Slack Figma Googleサインイン Micorsoft Teamse <p>データ移行</p> <ul style="list-style-type: none"> Jiraからデータ移行 Confluenceからデータ移行 	<p>主な機能</p> <p>フリー以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理 (アジャイルとウォーターフォールと一般的なタスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ガントチャート マイルストーンと成果物管理 タスクの依存関係 ワークフロー自動化 プロジェクトのスナップショットと差分比較 プロジェクト計画のExcelインポート / エクスポート <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ページの外部公開 	<p>主な機能</p> <p>スタンダード以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理 (アジャイルとウォーターフォールと一般的なタスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ロードマップ 自動化ルール リソース管理 (工数管理) プロジェクトポートフォリオ管理 <p>ナレッジ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> マインドマップ スプレッドシート Excelインポート / エクスポート <p>シングルサインオン / セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> Google SSO Azure SSO 高度セキュリティ設定 多要素認証 (MFA) <p>DevOps</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成管理ツール連携 (SVN, Git, Bitbucketなど) Jenkins連携 	<p>主な機能</p> <p>ビジネス以下の全機能に加えて</p> <p>プロジェクト管理・タスク管理 (アジャイルとウォーターフォールと一般的なタスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> PMO向けレポート CMMI開発プロセスの改善レポート 要件管理 / バグ管理レポート メンバー工数効率管理 カスタムレポート <p>オンプレミス対応</p> <ul style="list-style-type: none"> LDAP/AD CAS 2.0 SAML 2.0 API Kubernetes
Cloud	Cloud	Cloud	Cloud On-Premises
<p>有料プランでは、アドオンオプションをご提供します</p>			
<p>※アドオンオプションは有料プランのみ追加可能です。</p>			
<p>ONES Task</p> <p>ONES TestCase</p> <p>ONES Copilot</p> <p>600円/月額</p>			

無料のEラーニング（チーム全員が利用可能）

ONES製品は、無料のEラーニングサービスを提供しています。

このサービスは誰でも利用することができます。ONES製品を利用するチーム組織の全従業員は、いつでも、どこでもONES製品の勉強を行うことができます。



<https://academy.ones.com/home-ja>

ONES Academy

公式トレーニングでONES.comの使い方を学び、スキルアップを目指しましょう！
ONES Academyは、ユーザーがONES.comを効果的に活用できるように、ONES.comの基本的なコンセプト、仕組み、機能、操作の流れなどを説明しています。

おすすめのコース

 <p>Confluence Migration Tool</p>	 <p>Jira Migration Tool</p>
<p>移行 Confluence 移行</p> <p>ONES.comのデータ移行の機能を学び、ONES.comの提供するセルフ移行ツールを利用して円滑なConfluence移行を実現しましょう！</p>	<p>移行 Jira 移行</p> <p>ONES.comのデータ移行の機能を学び、ONES.comの提供するセルフ移行ツールを利用して円滑なJira移行を実現しましょう！</p>

ONES.com 入門編

ONES.comを初めて利用する方

 <p>ONES System Administrator Training</p> <p>管理者向け研修 ONES.com システム管理者向け研修</p>	 <p>ONES Basic Course</p> <p>基本 ONES.com ファンダメンタルズ</p> <p>ONES Project、ONES Wiki、ONES TestCaseなどの製品のコンセプト、機能、操作を学び、ONES.comをチームに最適なワークスペースにカスタマイズしましょう！</p>	 <p>ONES System Administrator Training</p> <p>管理者向け研修 ONES Project 管理者向け研修</p>
 <p>ONES System Administrator Training</p> <p>管理者向け研修 ONES Wiki 管理者向け研修</p>	 <p>ONES System Administrator Training</p> <p>管理者向け研修 プロジェクト 管理者向け研修</p>	

ONES 製品
の利用について

価格体系

無料のEラーニング

日本語サポート

評価のお申し込み

充実した日本語マニュアル

日本語でわかりやすい充実したマニュアルは、ONES製品の利用を手助けします。

https://ja.docs.ones.com/

チームアップなら ONES.com にお任せ

The screenshot displays the ONES.com Japanese documentation website. At the top, the URL 'https://ja.docs.ones.com/' is shown. Below it is the main heading 'チームアップなら ONES.com にお任せ'. The page features a search bar with the placeholder text 'Ask or search...'. A navigation menu is visible on the left side, listing various topics such as 'はじめに', 'さあ、始めましょう', '契約プランについて', 'サブスクリプション管理', '組織とチーム', 'チームをセットアップする', '組織を管理する', 'チームを管理する', '権限について', 'サードパーティー連携', 'チームメンバーを管理する', 'ONES PROJECT', 'ONES Project とは?', 'プロジェクト', 'コンポーネント', '共通コンポーネント', '課題タイプコンポーネント', 'スクラム開発のコンポーネント', 'ウォーターフォール開発のコンポーネント', and 'その他の機能コンポーネント'. A central dropdown menu is open, showing categories like 'データ移行', 'ONES アプリ', 'アカウント・ライセンス', 'SETTINGS', '運用保守ツールキット', and 'ONES モバイル'. The main content area on the right contains text about integrating ONES with other tools and a section titled 'ON THIS PAGE' with links to '要件管理', 'タスク管理', 'スプリント管理', 'バグ管理', 'プロジェクト進捗管理', and 'リリース管理'.

ONES Project でプロジェクト工程を効率化するには

日本向けのセキュリティと安全性

回答プレビュー

Assured によるセキュリティ評価^②

85.2~85.7 / 100 全体の上位50%

全体平均76点

クラウドサービスのセキュリティ評価サービス『Assured』にて高い評価



AICPA SOC 2 Type I



ISO 9001



ISO 20000



ISO 27001



ISO 27018



※上記以外にもCMMI レベル3を取得しています。

ONES 製品
の利用について

価格体系

無料のEラーニング

日本語サポート

評価のお申し込み

評価のお申し込み

Jira、Confluence 移行はこちら >

ONES.com 製品 ソリューション リソース 料金プラン

無料トライアル

製品のリリースを 素早く、スムーズに

プロジェクト、タスク、ドキュメント、テストケース、その他様々な機能を使って製品の開発体験をリフレッシュしましょう。

勤務先メールアドレスを入力 無料トライアル

ONES TestCase ONES Project ONES Wiki

計画と追跡 テストとリリース コラボレーション

<https://ones.com/ja/>

 =ここから評価を開始してください

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

費用対効果

最後に

前提条件

通常プランを利用した場合の組織の生産性向上率：1年目：平均15% / 2年目以降：平均30%と仮定
 生成AIプランを利用した場合の組織の生産性向上率：1年目：平均20% / 2年目以降：平均35%と仮定

前述（P8）の市場調査会社が発表する生産性向上率は30%以上であるが、導入1年目はツールややり方に対する学習と浸透を重点にするため、初年度は15%の生産性向上とし、2年目以降から30%と仮定します。

利用人数：30名

利用人数は30名と仮定します。

人件費の試算基準：420万円 / 年間

利用人数は30名とし、日本の正社員平均年収：426万円≒420万円をベースとします。

通常プランの場合

(千円)

	期待効果の試算				
	利用人数	平均年収 (千円)	①総人件費 (千円)	②生産性向上率	①*(100%+②) -① 期待効果
1年目	30	4,200	126,000	15%	18,900
2年目	30	4,200	126,000	30%	37,800
3年目	30	4,200	126,000	30%	37,800
4年目	30	4,200	126,000	30%	37,800
5年目	30	4,200	126,000	30%	37,800

生成AIプランの場合

(千円)

	期待効果の試算				
	利用人数	平均年収 (千円)	①総人件費 (千円)	②生産性向上率	①*(100%+②) -① 期待効果
1年目	30	4,200	126,000	20%	25,200
2年目	30	4,200	126,000	35%	44,100
3年目	30	4,200	126,000	35%	44,100
4年目	30	4,200	126,000	35%	44,100
5年目	30	4,200	126,000	35%	44,100

費用対効果

年間費用（コスト）

ライセンス費用（年間）の費用
 ONES製品のプラン別の年間費用（30名利用の場合）

通常プランの場合（30名利用の場合） (千円)

	ライセンス費用（年間）（千円）		
	スタンダード @10,080	ビジネス @21,840	エンタープライズ @34,560
1年目	302	655	1,037
2年目	302	655	1,037
3年目	302	655	1,037
4年目	302	655	1,037
5年目	302	655	1,037

生成AIプランの場合（30名利用の場合） (千円)

	ライセンス費用（年間）（千円）		
	スタンダード @17,280	ビジネス @29,040	エンタープライズ @41,760
1年目	518	871	1,253
2年目	518	871	1,253
3年目	518	871	1,253
4年目	518	871	1,253
5年目	518	871	1,253

 = 推奨プラン

ビジネスプラン以上では、工数管理、自動化など、生産性をさらに向上させるための機能があります。

前提条件

年間費用(コスト)

費用対効果

費用対効果

費用対効果

プラン別の費用対効果

各プランご毎の費用対効果を以下に試算しました。

通常プランの場合（30名利用の場合）

	費用対効果（年間）（千円）		
	スタンダード	ビジネス	エンタープライズ
1年目	18,598	18,245	17,863
2年目	37,498	37,145	36,763
3年目	37,498	37,145	36,763
4年目	37,498	37,145	36,763
5年目	37,498	37,145	36,763

生成AIプランの場合（30名利用の場合）

	費用対効果（年間）（千円）		
	スタンダード	ビジネス	エンタープライズ
1年目	24,682	24,329	23,947
2年目	43,582	43,229	42,847
3年目	43,582	43,229	42,847
4年目	43,582	43,229	42,847
5年目	43,582	43,229	42,847

 = 推奨プラン

ビジネスプラン以上では、工数管理、自動化など、生産性をさらに向上させるための機能があります。

前提条件

年間費用(コスト)

費用対効果

ビジネス環境の課題

ナレッジ管理を行う理由と課題

ナレッジ管理を促進する方法

ナレッジ管理の未来

ナレッジ管理ツール『ONES Wiki』

『ONES Wiki』の生成AI機能

利用するには

費用対効果

最後に

仕組みと制度をつくること

仕組みと制度が意識を変える

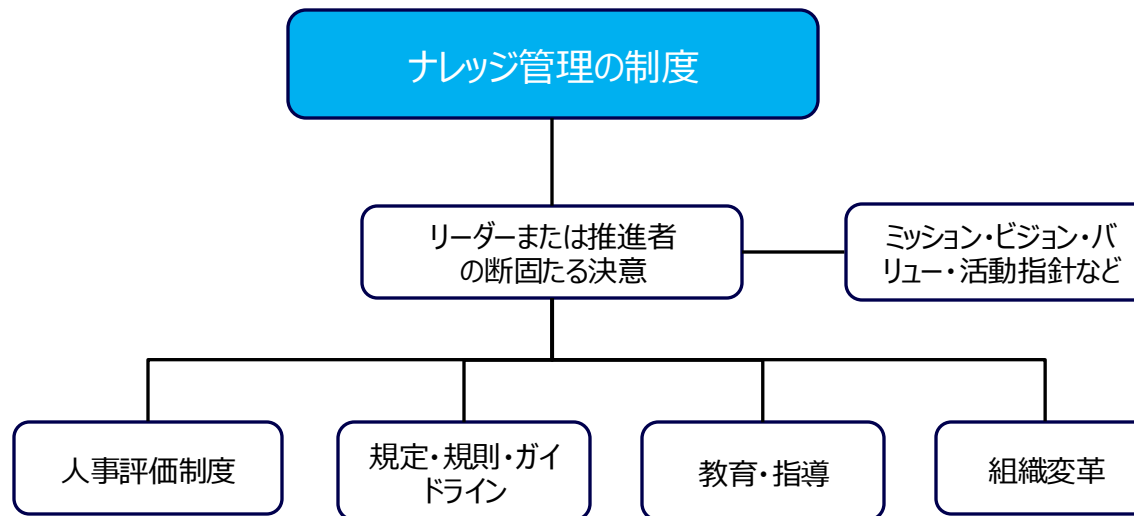
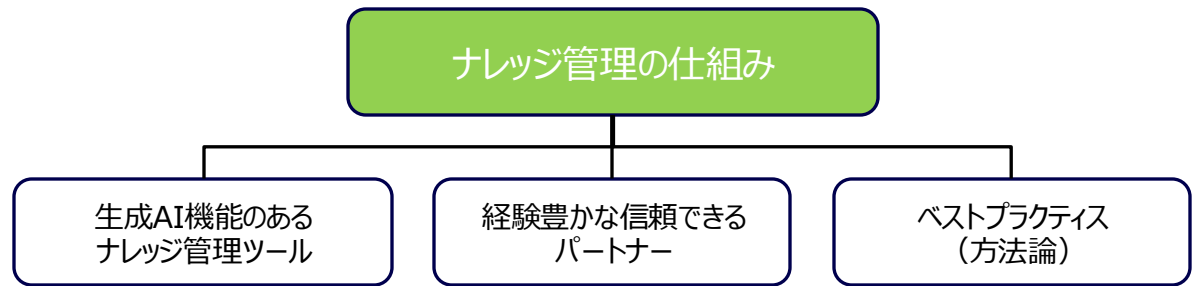
仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと



責任部門や推進部門

- ・ ナレッジマネジメント
- ・ AIマネジメント
- ・ イノベーションマネジメント
- ・ 人事戦略マネジメント

仕組みと制度をつくること

仕組みと制度が
意識を変える

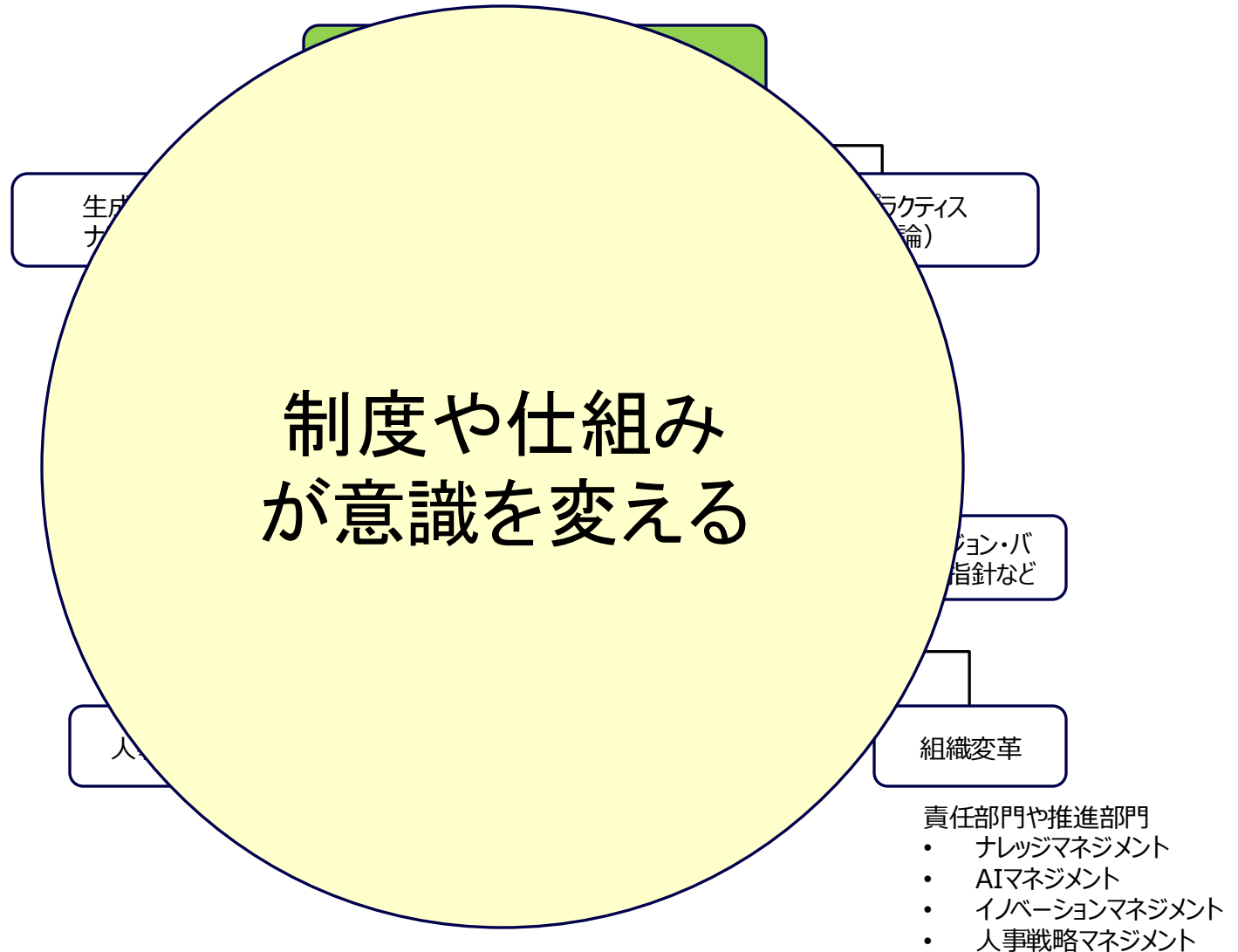
仕組みはガイド
ラインに書いてある

AIに関するガイド
ライン

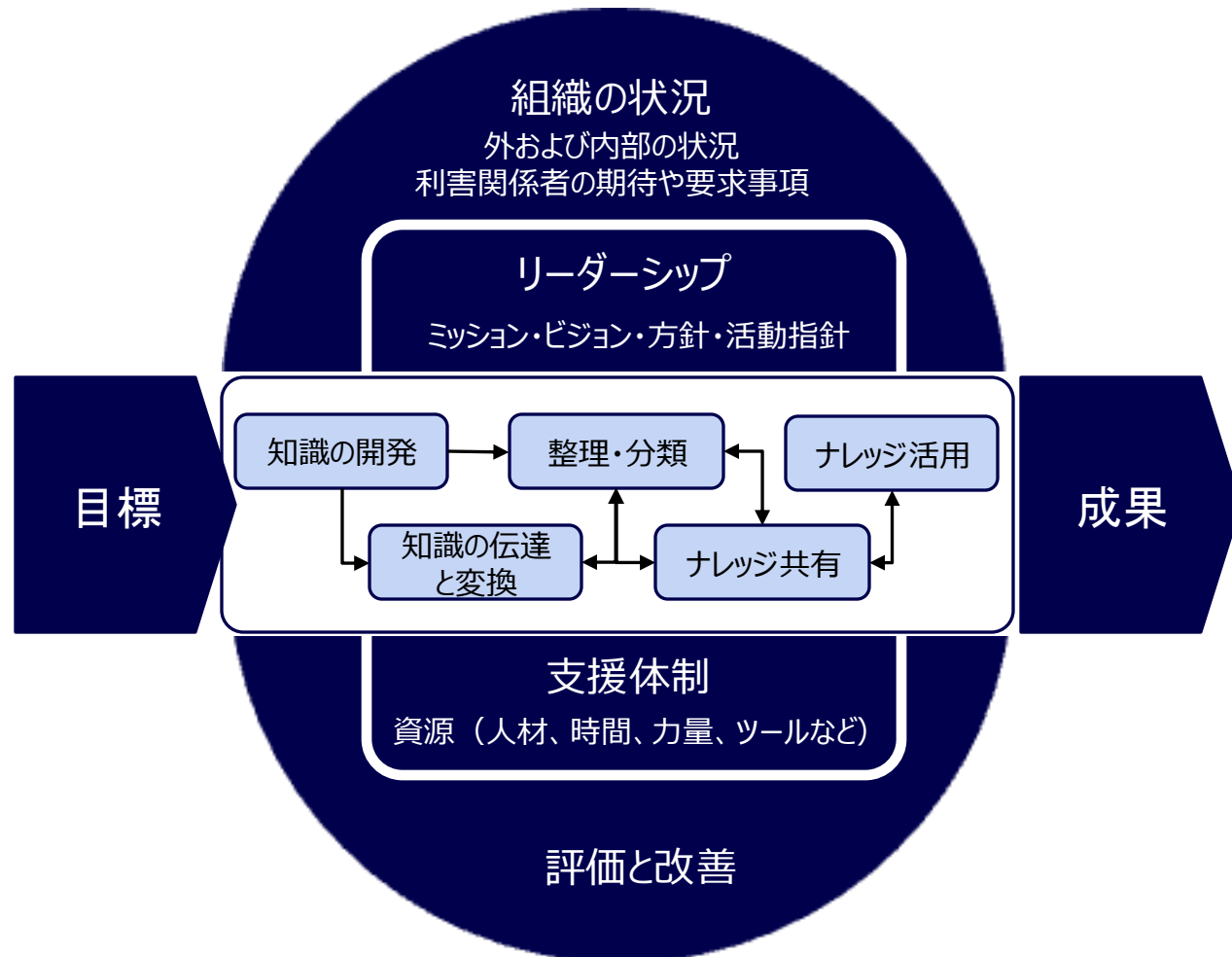
AIと適切な関係
になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこ
と



制度や仕組みのガイドライン



ISO30401(ナレッジ・マネジメントシステム)
ナレッジ管理を成功させる要素は、すべて記載されています。

仕組みと制度が
意識を変える

仕組みはガイド
ラインに書いてある

AIに関するガイド
ライン

AIと適切な関係
になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこ
と

AI活用の制度と仕組みについて

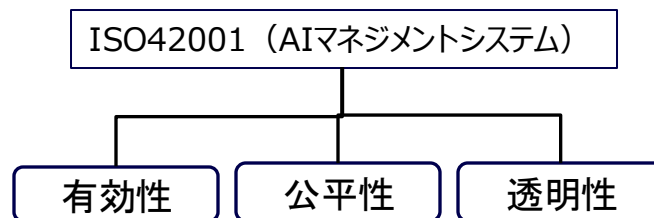
AI利用の国際標準規格：ISO42001（AIマネジメントシステム）

ISO42001の目的

ISO/IEC 42001規格は、テクノロジーが急速に進化しているにもかかわらず、AIを責任を持って効果的に使用するために必要な包括的なガイダンスを組織に提供しています。人工知能のさまざまな側面と組織が実行している可能性のあるさまざまなアプリケーションをカバーするように設計されており、リスク評価からこれらのリスクの効果的な処理まで、AIプロジェクトを管理するための統合アプローチを提供します。

Apple Cardに発覚した“性差別”問題から、「性別を見ないアルゴリズム」に潜むリスクが浮き彫りに

アップルが米国でサービスを開始したクレジットカード「Apple Card」が、性差別問題に直面している。発行時に付与される利用限度額が、男性より女性のほうが低いというのだ。発行元であるゴールドマン・サックスによると、性別データはアルゴリズムに入力されていないという。しかし、実は性別データが不在であることで、そもそもバイアスの検証が困難になるという問題が潜んでいる。



「わたしたちは危険をコントロールしながら新技術の可能性を実現する使命がある」。まさに「もろ刃の剣」ともいえるAIの未来とは

AI × ビジネスカンファレンス「WIRED Singularity powered by デロイト トーマツ グループ AI Experience Center」で共有された、企業やイノベーターたちのビジョン。

IN COLLABORATION WITH DELOITTE TOHMATSU GROUP

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

AI活用の制度と仕組みについて

ISO42001が求めるリスクの分類と評価基準は以下となります。

AI利用に関するリスクの分類

リスクレベル	説明	例
最小リスク	リスクが最も低く、ユーザーの権利や安全に大きな影響を与えない。特別な規制や管理は不要。	スパムフィルター、ビデオゲーム
限定リスク	ユーザーに一定のリスクが存在するため、明確な情報提供が求められる。	カスタマーサポートAI、推薦システム
高リスク	健康、生命、安全、または基本的人権に直接影響を与える可能性があり、厳格な監査が必要。	医療AI、バイオメトリクス監視システム
許可されないリスク	倫理的・法的理由により、使用が禁止されるべきリスクの高いAIシステム。	リアルタイム監視システム、感情認識システム

AI利用に関するリスク評価基準

評価基準	説明
AIの意図した目的と利用	AIが使用される状況と、その結果を評価する。
影響を受ける個人や社会の規模	AIが個人の権利や社会全体にどの程度影響を与えるか。
自動化のレベル	AIが自律的に判断を下す度合い。
透明性と説明可能性	AIの意思決定プロセスが理解可能かどうか。

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

AI活用の制度と仕組みについて

ISMS情報資産台帳をもとに生成AIやAPIアクセスなどの取り扱いを定義する

情報資産管理台帳

業務分類	情報資産名称	備考	利用者範囲	管理部署	媒体・保存先	個人情報の種類			評価値			
						個人情報	要配慮個人情報	特定個人情報	機密性	完全性	可用性	重要度
人事	社員名簿	社員基本情報	人事部	人事部	事務所PC	有			3	1	1	3
人事	社員名簿	社員基本情報	人事部	人事部	書類	有			3	3	3	3
人事	健康診断の結果	雇入時・定期健康診断	人事部	人事部	書類		有		3	3	2	3
経理	給与システムデータ	税務署提出用源泉徴収票	給与計算担当	人事部	事務所PC			有	3	3	2	3
経理	当社宛請求書	当社宛請求書の原本(過去3年分)	総務部	総務部	書類				2	2	2	2

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

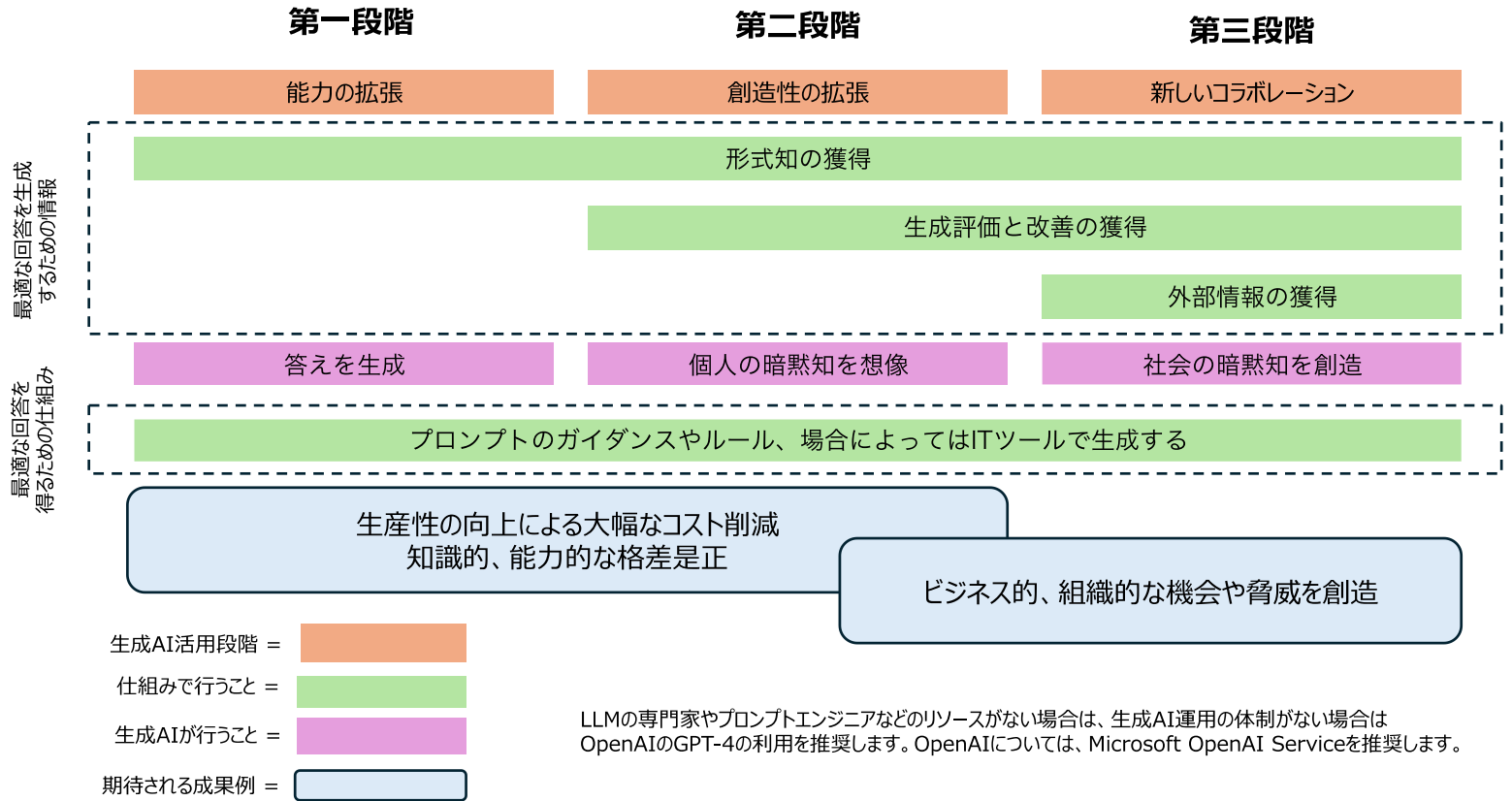
AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

AIと適切な関係となるために

いきなり結果を求めないこと（育てることが大切）



仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

AIと適切な関係となるために

生成AIとの最適な関係を築くための力量

- **クリティカルシンキング**

クリティカルシンキング（批判的思考）とは、現状の課題・問題が何か、その事象を「批判的」に捉えて、本質的な課題は何か、それに対する仮説・回答は何かということを網羅的に、かつ深く考え抜く思考法のことをいいます。組織でクリティカルシンキングを活用することで、主体的解決者として、計画立案や問題解決、そして意思決定の基盤・技術を築くことができます。また分析、推論、伝達といったクリティカルシンキング・スキルは円滑なコミュニケーションにおいても重要です。

- **プロンプトエンジニアリング**

AI（人工知能）から望ましい出力を得るために、指示や命令を設計、最適化するスキルのことです。ChatGPTなどの生成AIを使いこなすために注目されるようになりました。生成AIは、命令（プロンプト）の出し方によって、出力されるコンテンツの質が大きく異なるため、より適切なものを入力するスキルが求められています。

- **ガバナンス・コンプライアンス、ポリシー**

AIガバナンスとは、人工知能(AI)の開発と利用を倫理的・法的・社会的基準に沿って監督・管理することで、AIによる事故やAI活用に伴うリスクへの対策を行う枠組みのことを指します。

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

企業がAIを活用することについて

博報堂DYグループがAIポリシーを公開



https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/ai_policy/

ポリシーやガイドラインを作成しておきましょう

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

最後に

株式会社システムコンシェルジュは、ITツールを通じて、組織に仕組み化を実現し、定着させるプロフェッショナルです。

仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

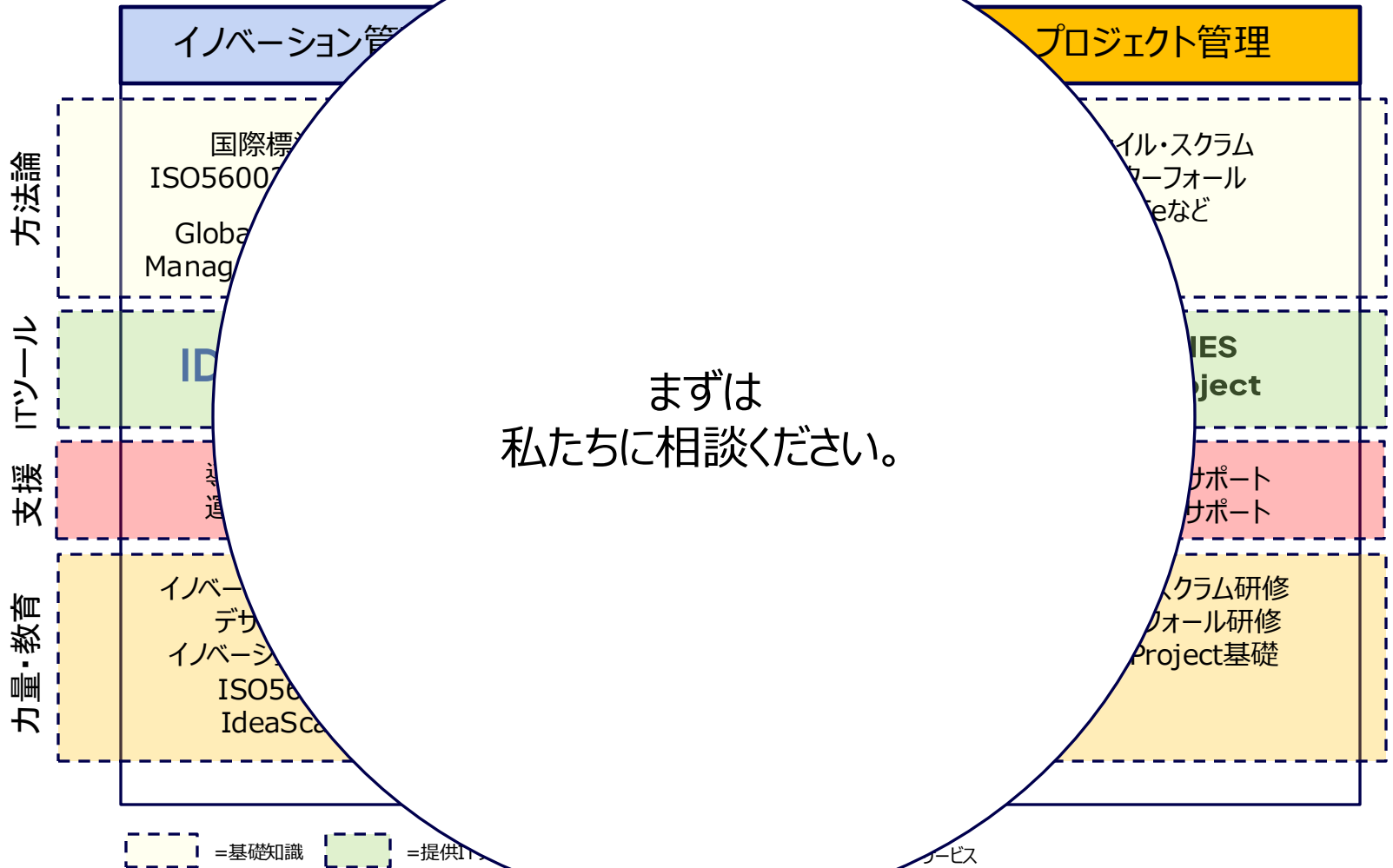
最初にやるべきこと

	イノベーション管理	ナレッジ管理	プロジェクト管理
方法論	国際標準規格 ISO56002/ISO56001 Global Innovation Management Institute	国際標準規格 ISO30401/ISO42001 日本文書情報マネジメント	アジャイル・スクラム ウォーターフォール SAFeなど
ITツール	IDEASCALE	ONES Wiki	ONES Project
支援	導入支援サポート 運用支援サポート	導入支援サポート 運用支援サポート	導入支援サポート 運用支援サポート
力量・教育	イノベーション人材育成研修 デザイン思考研修 イノベーション・ワークショップ ISO56002概論 IdeaScale基礎	ISO30401概論 ONES Wiki基礎	アジャイル・スクラム研修 ウォーターフォール研修 ONES Project基礎

=基礎知識
 =提供ITツール
 =教育サービス
 =サポートサービス

最後に

株式会社システムコンシェルジュは、ITツールを通じて、組織に仕組み化を実現し、定着させるプロフェッショナルです。



仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

まずは
私たちに相談ください。

ホームページ : <https://systemcon.co.jp/contact/>

お客様のニーズに応じたソリューションをご用意しております。各種お問い合わせ、ご質問など、お気軽にフォームよりご連絡ください。

製品・サービスに関するお問い合わせ

製品・サービスに関するお問い合わせはこちら



取材に関するお問い合わせ

メディア・製品などの取材に関するお問い合わせはこちら



資料ダウンロード

製品・サービスなどの資料やホワイトペーパーのダウンロードはこちら



情報 / インターンシップ

一緒にイノベーションを引き起こす人材を募集しています。詳しくは知りたい方はこちらから



仕組みと制度が意識を変える

仕組みはガイドラインに書いてある

AIに関するガイドライン

AIと適切な関係になるために

私たちのサービス

最初にやるべきこと

ホームページ : <https://systemcon.co.jp/contact/>

電話番号 : 03-5577-5735

メール : eigyo@systemcon.co.jp

ご清聴ありがとうございました。

皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

株式会社システムコンシェルジュ
大塚 和彦

<https://systemcon.co.jp/contact/systemcon-inquiry/>

